

# 3

# 運 転 す る と き

## スイッチの使いかた

エンジンスイッチ	3-2
ライティングスイッチ	3-8
ヘッドランプレベラー（光軸調整機構）	3-11
方向指示レバー	3-13
フォグランプスイッチ	3-14
ワイパー&ウォッシャースイッチ	3-15
ヘッドランプウォッシャー	3-20
リヤウインドウデフォグガー（曇り取り）	3-21
フロントワイパーデアイサー	3-22
ハザードランプ（非常点滅灯）スイッチ	3-23
ホーンスイッチ	3-23
イルミネーションコントロールダイヤル	3-24
ブライト（減光キャンセル）機能	3-24

## メーター、表示灯、警告灯の見かた

メーター	3-25
表示灯	3-29
警告灯	3-34

## 運転装置の使いかた

イモビライザー（盗難防止用エンジン始動ロックシステム）	3-43
エンジンの始動と停止のしかた（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車）	3-45
エンジンの始動と停止のしかた（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外）	3-50
電動パーキングブレーキ	3-53

## マニュアル車の運転

チェンジレバー	3-57
SI-DRIVE（SUBARU Intelligent Drive）	3-58

## オートマチック車およびCVT車の運転

セレクトレバー	3-60
運転手順	3-65
マニュアルモード	3-69
SI-DRIVE（SUBARU Intelligent Drive）	3-71

## クルーズコントロール ..... 3-73

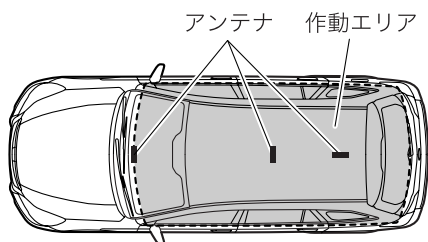
# スイッチの使いかた

## エンジンスイッチ

### ■プッシュスタート装備車

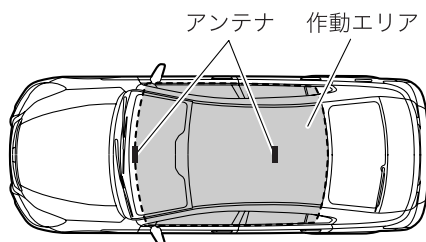
### ●エンジン始動の作動エリア

<ワゴン>



201758

<セダン>



201757

### 🏠 アドバイス

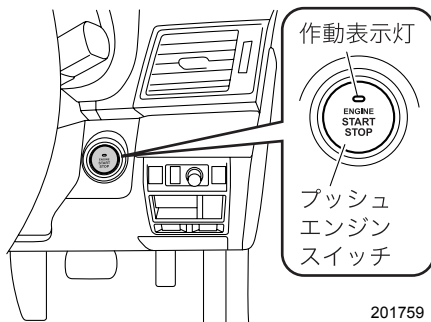
- 車内アンテナの作動エリア内でアクセスキーが検知されない場合、電源切り替えおよびエンジン始動はできません。
- 車外にアクセスキーがある場合でも、ガラス周辺に近づきすぎた場合はエンジン始動できる場合があります。
- アクセスキーをトランクに置いた場合、電源切り替えやエンジン始動はできません。但し、アクセスキーの置場や周囲の条件によっては始動できる場合があります。
- アクセスキーを次の場所に置かないでください。電源の切り替えやエンジンを始動できないことがあります。
  - ー インストルメントパネル上
  - ー フロア上
  - ー グローブボックス内
  - ー ドアトリムのポケット
  - ー リヤシート
  - ー カーゴルームの隅 (ワゴン)
  - ー リヤシェルフ (セダン)
- アクセスキーがバッテリー切れの場合は、「アクセスキーが正常に作動しないとき」の方法でエンジン始動をしてください。この場合はすみやかに電池交換してください。

☆7-19、8-65ページ参照

## ●電源の切り替えかた

プッシュエンジンスイッチを押すごとに、電源が切り替わります。

- ① アクセスキーを携帯し、運転席に座ります。
- ② オートマチック車およびCVT車はセレクターレバーが[P]であること、マニュアル車はニュートラルであることを確認します。
- ③ オートマチック車およびCVT車はブレーキペダル、マニュアル車はクラッチペダルを踏まずにプッシュエンジンスイッチを押します。押すごとに電源がOFF→Acc→ON→OFFの順に切り替わります。エンジン停止時、プッシュエンジンスイッチがAccまたはONのときはプッシュエンジンスイッチ内の作動表示灯が橙色に点灯します。



201759

電源の状態	作動表示灯の色	各作動の動き
OFF	消灯	電源が切れる
Acc	橙色	次の電装品が使用できる ドアミラー、電源ソケットなど
ON	橙色(エンジン停止)	全ての電装品が使用できる
	消灯(エンジン回転中)	

運転するとき

## ●バッテリー上がり防止機能

Accにした状態で約1時間放置するとバッテリー上がり防止のため自動的に電源がOFFになります（オートマチック車およびCVT車はセレクトレバーが[P]のとき）。



### 注意

- 電源がONまたはAccのまま長時間放置すると、車両のバッテリー上がりの原因となります。
- オートマチック車およびCVT車はセレクトレバーが[P]以外では電源をOFFにすることはできません。
- プッシュエンジンスイッチに飲料水などをこぼさないでください。故障の原因となります。
- プッシュエンジンスイッチを油などの付いた手で触れないでください。故障の原因となります。
- プッシュエンジンスイッチの作動に引っかかりがあるときは、プッシュエンジンスイッチを操作せず、すみやかにスバル販売店に連絡してください。
- 車幅灯を点灯してもプッシュエンジンスイッチ照明が点灯しないときは、スバル販売店で点検を受けてください。
- 炎天下で長時間車両を放置すると、プッシュエンジンスイッチの表面が熱くなる場合があります。やけどしないようご注意ください。
- バッテリー上がりおよびバッテリー脱着後は、ステアリングロックシステムの初期化を行わないとエンジンが始動しない場合があります。その際はステアリングロックの初期化※を行ってください。

#### ※ステアリングロックの初期化

MT車はチェンジレバーをニュートラルの位置に、AT車およびCVT車はセレクトレバーを[P]の位置にします。

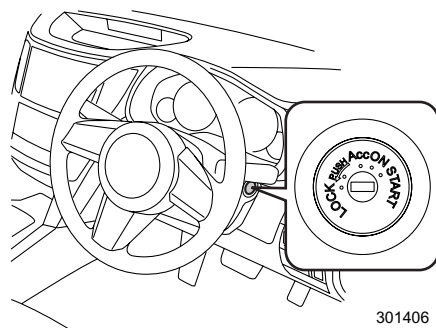
電源をOFFにして運転席ドアを開閉し、約10秒間お待ちください。ステアリングがロックされれば初期化は完了しています。



### アドバイス

- プッシュエンジンスイッチを操作するときは、奥まで確実に押してください。
- プッシュエンジンスイッチを早押しした場合、電源が切り替わらない場合があります。

## ■プッシュスタート装備車以外



301406

LOCK (ロック)	キーの抜き差しができる位置 キーを抜くとハンドルがロックされます
PUSH (プッシュ)	電源が切れる位置 LOCKへ回転させるときはキーを押し込みます
Acc (アクセサリ)	エンジン停止時、次の電装品が使用できる位置 ドアミラー、電源ソケットなど
ON (オン)	全ての電装品が使用できる位置 エンジン始動後はこの位置になります
START (スタート)	エンジンを始動する位置

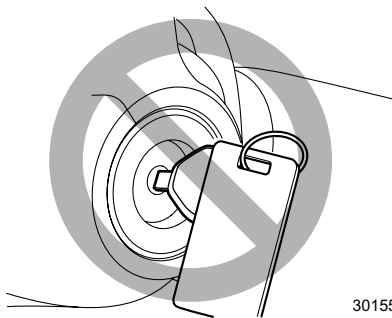

**警告**

走行中LOCKにしないでください。キーが抜けるとハンドルが固定され、操作できなくなり、重大な事故につながるおそれがあります。

### ⚠ 注意

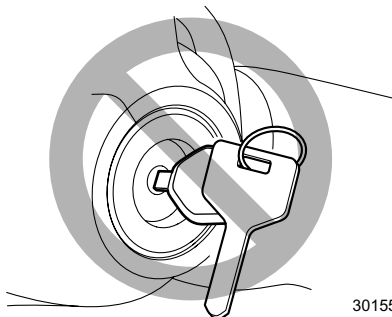
- キーグリップにキーホルダーや他のキーがかさなると、膝や手などが当たり、キーを回してしまうおそれがありますので注意してください。大型のキーホルダーはキーに付けしないでください。テコの原理で小さな力でも回してしまうおそれがあります。
- キーホルダーや他のキーを多数付けしないでください。また、重いものをキーに付けしないでください。車両の動きにより遠心力が働き、キーを回してしまうおそれがあります。

キーグリップにキーホルダーやアクセサリがかさなっているとき



301555

キーグリップに他のキーがかさなっているとき



301556

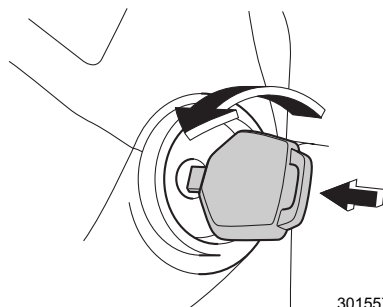
### 🏠 アドバイス

- エンジンを止めているときは、スイッチをLOCKにしてください。
- 長時間ONにしたり、Accにして電装品を使うとバッテリー上がりの原因になります。
- キーがLOCKからAccに回らないときはハンドルを左右に回しながらキーを操作してください。

### ●キーを抜くとき

オートマチック車およびCVT車は、セレクトレバーを[P]にしてキーをLOCKに回してください。

PUSH（キーを手前に回すと動かなくなる位置）でキーを押し込んでからLOCKに回してください。



301557

### ●キー抜き忘れ警報

キーをエンジンスイッチに差したまま運転席ドアを開けるとブザーが鳴ります。ただし、エンジンスイッチがONのときは鳴りません。



#### アドバイス

車外に出るときには、必ずキーを持っていることを確認して施錠してください。

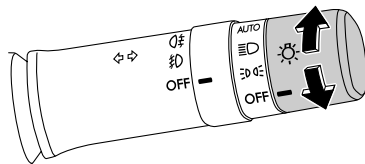
### ●エンジンキー照明（イグニッションキー照明）

エンジンスイッチの周辺が点灯します。

運転席のドアを開けたとき点灯し、閉めた後も一定時間点灯し、その後徐々に消灯していきます。

## ライティングスイッチ

エンジンスイッチがONのとき、スイッチを回すと次のようにランプが点灯します。



301407

スイッチの位置	ヘッドランプ	車幅灯、尾灯、番号灯
AUTO	自動点灯または消灯	自動点灯または消灯
	点灯	
	消灯	点灯
OFF	消灯	

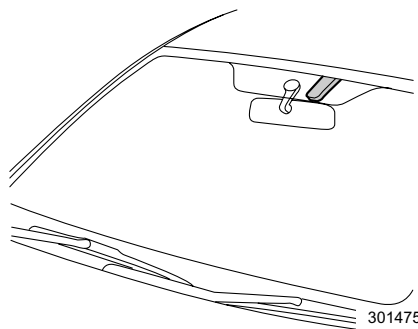
### ■オートライト

オートライトセンサーは、フロントガラス上部にあります。

エンジンスイッチがONのとき、ライティングスイッチをAUTOの位置にすると、周囲の明るさに応じて各ランプが点灯または消灯します。

車外が暗くなると、まず車幅灯、尾灯、番号灯が自動的に点灯します。さらに暗くなるとヘッドライトが点灯します。車外が明るくなると、逆の順に消灯します。

ランプ類が点灯したとき、メーター内の表示灯が点灯します。



301475

### ●オートライトの自動点灯・消灯感度のカスタマイズ

オートライトの自動点灯および消灯の感度を、4段階で設定することができます。

☆1-3ページ参照



**注意**



エンジン停止中はランプ類を長時間点灯させないでください。また、車から離れるときは、必ずライティングスイッチを OFF にしてください。バッテリー上がりの原因となります。

**アドバイス**

ランプ類が点灯しているときに、以下の操作を行うと自動的にランプ類は消灯します。

- プッシュエンジンスイッチを押して電源をOFFにしたとき（キーレスアクセス装着車）
- キーを抜いたとき（キーレスアクセス装着車以外）

自動的に消灯した場合、プッシュエンジンスイッチを押す、もしくはキーを差すと、ランプが再び点灯します。AUTO位置のときは周囲の明るさに応じて点灯します。

また、電源がOFF、またはキーを抜いた状態でも、ライティングスイッチをOFFにしてから再度  または  にするとランプが点灯します。

オートライト装着車は、次のような特徴があります。

- センサーをふさぐようなものをフロントガラス上部に貼ると、正常に作動しない場合があります。
- 昼間に濃い霧などが発生して視界が悪いときでも、自動で点灯しない場合があります。このときは手動で点灯してください。
- スイッチがAUTOの場合、連続したトンネルの出口と入口の間隔が短いときはランプが点灯し続けます。
- スイッチがAUTOの場合でも短いトンネルでは点灯しません。
- エンジンスイッチがONでライティングスイッチがAUTOのとき、システムに異常があると、周囲が明るい場合でもランプ類が点灯します。この場合はライティングスイッチをAUTO以外にする、またはキーをOFF（LOCK）にするとランプ類が消灯します。すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。
- 強い電磁波などにより誤作動することがあります。

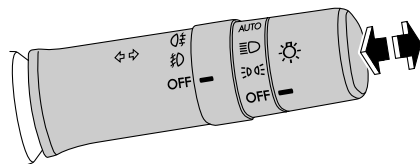
**■ ランプ消し忘れ警報**

電源がOFF、またはキーを抜いた状態でランプ類が点灯しているときに、運転席ドアを開けるとブザーが鳴ります。

## ■ヘッドランプの上下を切り替えるとき

ヘッドランプが点灯しているとき、レバーを前に押しと上向きになります。上向き点灯中はメーター内のハイビーム/パッシング表示灯が点灯します。

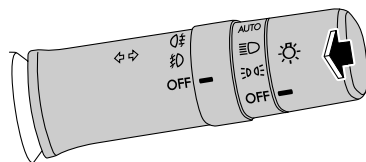
レバーを元に戻すと下向きになります。



301408

## ■合図のしかた（パッシング）

レバーを手前に引くとヘッドランプは上向きになります。上向き点灯中はメーター内のハイビーム/パッシング表示灯が点灯します。ライティングスイッチがOFFでも使えます。



301409

### アドバイス

自動的にランプ類が消灯した場合、ハイビーム/パッシング表示灯は点灯しません。

☆3-9ページ参照

## ヘッドランプレベラー（光軸調整機構）

### ■オートヘッドランプレベラー

下向きヘッドランプにHID（高輝度放電式ランプ）が装着されている車には、自動光軸調整機構がついています。

ヘッドランプの照射方向が正しく調整されていないと、対向車や前を走る車の迷惑になります。そのため、同乗者および積載量から自動的に照射方向を調整し、最適に保ちます。

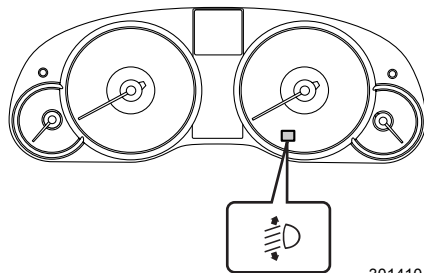
#### 警告

HIDバルブは、高電圧を使用しています。感電防止のため、ランプを分解したり、改造したりしないでください。バルブの脱着、交換はスバル販売店にご相談ください。

### ●オートヘッドランプレベラー警告灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、約3秒後に消灯します。

エンジン回転中、オートヘッドランプレベラー（自動光軸調整機構）の電子制御システムに異常があると点灯します。



301410

#### 注意

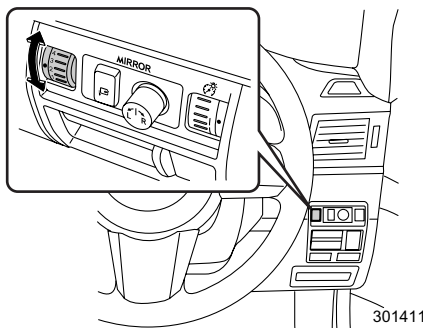
オートヘッドランプレベラー警告灯が点灯したときは、照射方向の自動調整が行われない場合があります。直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

## ■ マニュアルヘッドランプレベラー

下向きヘッドランプにハロゲンランプが装着されている車には、光軸調整ダイヤルがついています。ヘッドランプの下向き点灯時に使います。

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

- 同乗者および積載量によってヘッドランプが上向きを照らすことがあります。このようなとき、対向車の運転の妨げになるため、光軸調整ダイヤルを調整し、ヘッドランプが照らす向きを下側にしてください。
- ダイヤルの目盛りが大きくなるほどヘッドランプが照らす向きは下側になります。



- 乗車人数、荷室への積載状態に応じて、下の表を参考にダイヤル位置を調整してください。

### ワゴン

ダイヤル位置	前席乗車人数	後席乗車人数	荷室への積載
0	1名もしくは2名	0名	無
1	2名	3名	無
2	1名	0名	有※
3	—	—	—
4	—	—	—
5	—	—	—

### セダン

ダイヤル位置	前席乗車人数	後席乗車人数	荷室への積載
0	1名もしくは2名	0名	無
1	2名	3名	無
2	2名	3名	有※
3	1名	0名	有※
4	—	—	—
5	—	—	—

※荷室満載にした場合

### アドバイス

- ヘッドランプの照射方向が正しく調整されていないと、対向車や前を走る車に迷惑となります。対向車のフロントガラスや前を走る車のミラーを照らしているときは、光軸調整ダイヤルを操作してヘッドランプを下向きに調整してください。
- ハロゲンヘッドランプの光軸調整をするときは、光軸調整ダイヤルを「0」の位置にしてから行ってください。

## 方向指示レバー

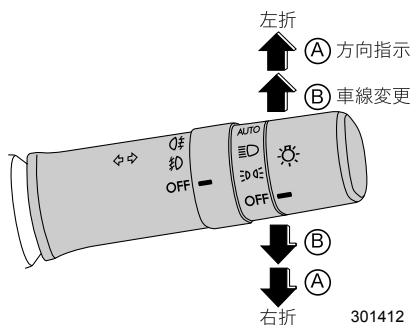
エンジンスイッチがON のとき、レバーを ① の位置まで動かすと方向指示器とメーター内の表示灯が点滅します。

右折あるいは左折後、ハンドルを戻すと自動的に戻りますが、戻らないときは手で戻してください。

車線変更の合図をするときは、② の位置で軽く押さえていると方向指示器とメーター内の表示灯が点滅します。

手を離すと元の位置に戻ります。

☆3-29ページ参照



301412

運転するとき

### アドバイス

方向指示器の電球が切れたとき、またワット数の異なった電球を使用すると点滅の早さが異常になります。

すみやかに点検し、異常のある電球を交換してください。

☆8-40ページ参照

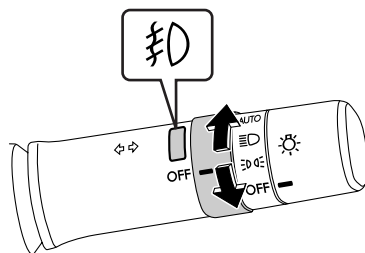
## フォグランプスイッチ

### ■フロントフォグランプスイッチ

郊外や山間部での濃霧などで見通しが悪いときに使用してください。

メーター内のライティングスイッチ表示灯が点灯しているとき、スイッチを (F) の位置まで回すとフロントフォグランプが点灯します。

フロントフォグランプ点灯中はメーター内のフロントフォグランプ表示灯が点灯します。



301413

### ■リヤフォグランプスイッチ

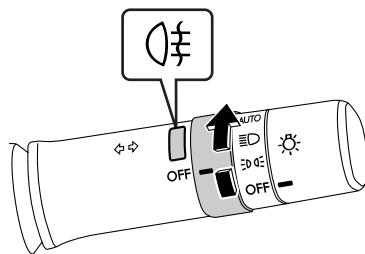
次のとき、スイッチを (R) の位置まで回すとリヤフォグランプが点灯します。

- ヘッドランプが点灯しているとき
- フロントフォグランプが点灯しているとき  
(フロントフォグランプ装着車)

リヤフォグランプ点灯中は、メーター内のリヤフォグランプ表示灯が点灯します。

手を離すと、スイッチは自動で戻ります。

リヤフォグランプを消灯させる場合は、もう一度スイッチを (R) の位置まで回してください。



301423

### アドバイス

- フロントフォグランプは、光束が拡散するように設計しているので、ヘッドランプの代わりにはなりません。また、使用方法を誤ると、まわりの車や対向車へ迷惑をかけることとなります。郊外や山間部での濃霧などで見通しが悪いときだけ使用してください。
- リヤフォグランプは使用方法を誤ると、後続車へ迷惑をかけることとなります。郊外や山間部での濃霧などで見通しが悪く、後続車に自分の位置を知らせる必要があるときにだけ使用してください。
- リヤフォグランプの消し忘れ防止のため、次の操作を行うとリヤフォグランプがOFFになります。
  - － エンジンスイッチOFF
  - － ライティングスイッチOFF
  - － フォグランプスイッチOFF

再度リヤフォグランプを点灯させるには、フォグランプスイッチを (R) の位置まで回してください。

## ワイパー&ウォッシャースイッチ

エンジンスイッチがONのときに使用できます。

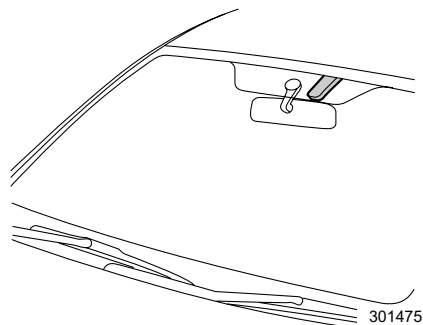
### ■フロントワイパーの作動

レバーを押し上げる、または押し下げることによって、ワイパーが作動します。

### ●オートワイパー装着車

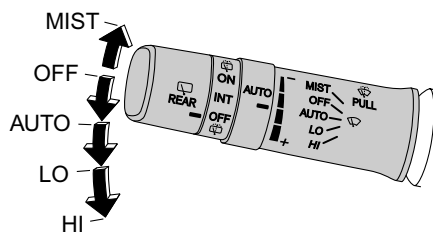
雨滴感知センサーは、フロントガラス上部にあります。雨滴量に応じてワイパーの作動を自動調整します。

ワイパーを使用しない場合は、スイッチをOFFにしてください。



運転するとき

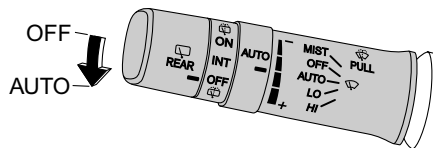
MIST	手動で作動
OFF	停止
AUTO	雨滴量により自動作動
LO	低速連続作動
HI	高速連続作動



### ▼オート作動

レバーを1段押し下げます。(AUTO位置)  
雨滴量に応じて、次のようにワイパーが作動します。

雨滴量	作動状態
なし	停止
少量	間欠作動 (車速に応じて変わります)
普通	低速連続作動
多量	高速連続作動

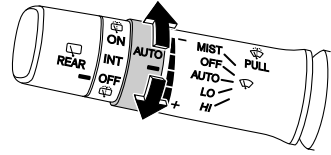


次ページへ ⇒

⇒前ページより

リングを回すと、雨滴量に反応するセンサーの感度を次のように調整できます。

リング位置	感度
－側	低
＋側	高



301418

### ▼オートワイパーのカスタマイズ

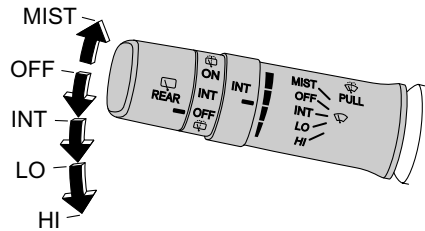
オートワイパーのAUTO/間欠作動の設定を変更することができます。

☆1-3ページ参照

リングを回すと、間欠作動の間隔を次のように調整できます。

### ●オートワイパー装着車以外

MIST	手動で作動
OFF	停止
INT	間欠作動
LO	低速連続作動
HI	高速連続作動



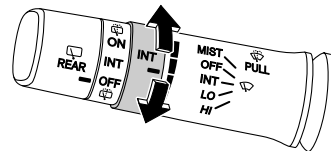
301414

### ▼間欠作動の時間調整

レバーを1段押し下げます。(INT位置)

リングを回すと、間欠作動の間隔を次のように調整できます。

リング位置	作動間隔
上側	長
下側	短

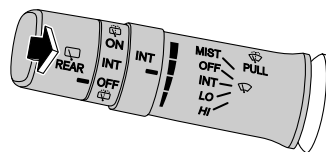


301415



### ●フロントウォッシャー

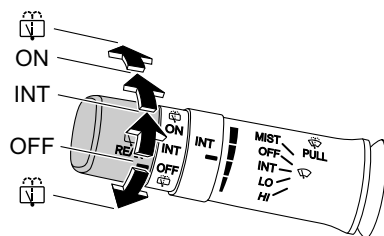
スイッチを手前に引いている間、ウォッシャー液が噴射します。このとき、ワイパーが1～2回動きます。





301419

### ■リヤワイパー／ウォッシャーの作動

スイッチを回すと作動します。



301420

 (上側)	連続作動中にウォッシャー液が噴射します。 手を離すとONに戻ります。
ON	連続で作動
INT	間欠 (車速に応じて変わります)
OFF	停止
 (下側)	ウォッシャー液が噴射し、ワイパーが動きます。 手を離すとOFFに戻ります。

## 注意

- ガラスが乾いているときにはワイパーを操作しないでください。ガラスに傷をつけることがあります。また、ワイパーブレードに傷がつき、拭き残しの原因となります。


オートワイパー装着車は、次のことに注意してください。

- エンジンスイッチがONでワイパースイッチがAUTOのとき、センサー周辺のフロントガラスに触れたり、水などを含んだ布を近づけないでください。洗車する場合は必ずスイッチをOFFにしてください。ワイパーが作動し、思わぬけがをするおそれがあります。
- 自動洗車機を使用する場合、必ずスイッチをOFFにしてください。ワイパーが作動し、上面ブラシに引っかかりワイパーなどが損傷するおそれがあります。

## アドバイス

- ガラスに拭き残しができるときにはワイパーブレードのラバーを交換してください。

☆7-12ページ参照

- 寒冷地で屋外に駐車するときにはワイパーを立てておいてください。ワイパーブレードがガラスに凍りつくことを防止するためにワイパーアームを起こすときは、運転席側を先に起こしてから助手席側を起こしてください。戻すときは、助手席側のワイパーアームを先に戻してから運転席側のワイパーアームを戻してください。手順を間違えた場合、ワイパーアームが損傷する原因となります。
- ワイパーブレードがガラスに凍りついたときは、ぬるま湯をかけるか、以下の操作を行いガラスを暖めてください。
  - ー フロントガラスは、エアコンの吹き出し口切り替えスイッチを (デフロスター) にするか、フロントワイパーデアイサーを使用してください。
  - ー リヤガラスは、リヤウインドウデフォグラーを使用してください。

☆3-22ページ参照


- 積雪などにより、ワイパーが途中で止まったときは、車を安全な場所に止めてワイパースイッチをOFF、エンジンスイッチをAccまたはLOCK (OFF) にし、ワイパーが作動できるように積雪などの障害物を取り除いてください。
- フロントワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。モーターの負担が大きい状況が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まる場合があります。その場合には、車を安全な場所に止めて、一度ワイパースイッチをOFFにしてください。10分ほどするとブレーカーが復帰して通常使用できるようになります。

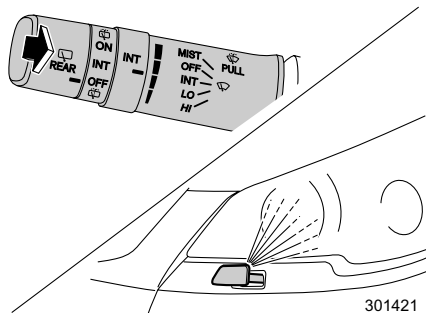
- フロントウォッシャーノズルの噴出範囲の調整はスバル販売店にご相談ください。
- ウォッシャー液が出ないとき、ウォッシャースイッチを押し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。ゴミがつまるなど、ウォッシャー液が噴射できないときは、最寄りのスバル販売店にご連絡ください。

オートワイパー装着車は、次のような特徴があります。

- エンジンスイッチがONのとき、ワイパースイッチをAUTOにすると、作動確認のためワイパーが1回作動します。
- センサーまたはフロントガラスに振動があったり、虫や泥などの汚れが付着した場合は、ワイパーが作動することがあります。降雨時以外はスイッチをOFFにしてください。
- 雨滴または雪が降っていてもセンサーが感知しない場合、ワイパーは作動しません。その場合は、レバーをLOまたはHIに切り替えてください。
- 次の場合はセンサーが雨滴量を正確に感知できず、ワイパーが正常に作動しない場合があります。
  - － フロントガラスにはっ水コーティングをしたとき
  - － フロントガラス上部が汚れているとき
  - － フロントガラス上部が氷結しているとき
- 車速に感応する間欠作動ワイパーが装備されています。停車中の作動間隔は、次のようになります。
  - － フロントワイパー：走行中に比べ長くなります。
  - － リヤワイパー：セダンは走行中に比べ短くなり、ワゴンは走行中に比べ長くなります。
- リヤワイパーの間欠作動は、フロントワイパーの間欠作動と連動していません。
- 雨滴量が変化しているときでもワイパーが一定間隔で作動している場合、雨滴感知センサーが故障しているおそれがあります。このようなときはワイパースイッチを手動で切り換えてください。オートワイパーの故障が考えられますので、直ちにスバル販売店で点検を受けてください。
- 外気温が $-15^{\circ}\text{C}$ 以下の場合、降雪での使用を想定し、ワイパースイッチがAUTOでも間欠作動となります。外気温が $-10^{\circ}\text{C}$ 以上になるとAUTO作動に復帰します。
- センサー周囲温度が $80^{\circ}\text{C}$ 以上の場合、正しく雨滴を感知できないため、ワイパースイッチがAUTOでも間欠作動となります。
- 強い電磁波により誤作動することがあります。

## ヘッドランプウォッシャー

ヘッドランプが汚れたときに使用します。  
エンジンスイッチがONでライティングスイッチがのとき、フロントウォッシャーのスイッチを1秒以上手前に引くと、フロントウォッシャーと連動して作動します。ヘッドランプウォッシャーは約1秒間作動し、停止します。



301421

### アドバイス

- ウォッシャー液が出ないとき、ウォッシャースイッチを手前に引き続けると、ポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。
- ゴミがつまるなど、ウォッシャー液が噴射できないときは、最寄りのスバル販売店にご連絡ください。

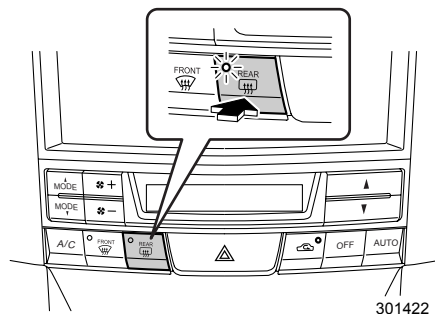
## リヤウインドウデフォグガー（曇り取り）

エンジンスイッチがONのとき使用できます。スイッチはエアコンの操作パネルの中にあります。リヤガラスの内側が曇ったときに使用します。

電熱線はリヤガラスにプリントしてあります。

### ■ 使いかた

スイッチを押すと、スイッチ内の表示灯が点灯し、約15分後、自動的にOFFになります。作動中、途中で止めるときは、スイッチをもう一度押します。（表示灯が消灯します）



301422

### ● リヤウインドウデフォグガーのカスタマイズ

リヤウインドウデフォグガーを15分作動／連続作動に設定を変更することができます。

☆1-2ページ参照

### 🏠 アドバイス

- 消費電力が大きいので長時間使うことや雪を溶かすような使いかたは避けてください。
- ガラス内側の清掃時、電熱線を切らないように水を含ませた柔らかい布で電熱線に沿って軽く拭いてください。ガラスクリーナー、洗剤は使わないでください。
- ヒーテッドアミラー装着車は、リヤウインドウデフォグガスイッチを押すと、ヒーテッドアミラーも連動して作動します。

☆2-91ページ参照

- フロントワイパーデアイサー装着車は、リヤウインドウデフォグガスイッチを押すと、フロントワイパーデアイサーも同時に作動します。

☆3-22ページ参照

- 連続作動は15分間作動し、2分間停止し、再度15分間作動を繰り返します。ただし、2分間の作動停止中も表示灯は点灯しています。
- 連続作動に設定していても、SI-DRIVEのI（インテリジェントモード）で15分間走行（約15 km/h以上）し続けると連続作動は停止します。
- 連続動作中にバッテリー電圧が低下すると連続作動は停止します。また、2分間の停止中にバッテリー電圧が低下したときは作動が停止します。

## フロントワイパーデアイサー

エンジンスイッチがONのとき使用できます。リヤウインドウデフォグガーと同時に作動します。

☆3-21ページ参照

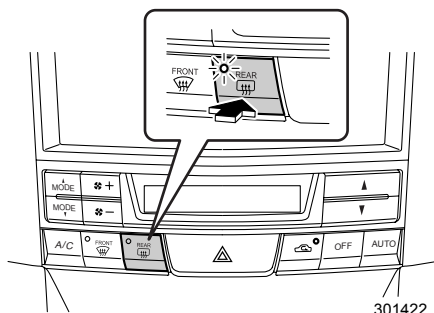
フロントワイパーがガラスに凍結しているとき、ガラスを温めてワイパーが作動できるようにします。

電熱線はフロントガラスの下部にプリントしてあります。

### ■使いかた

スイッチを押すとスイッチ内の表示灯が点灯し、フロントガラスの下側が暖められます。約15分後、自動的にOFFになります。

途中で止めたいときは、もう一度押します。(表示灯が消灯します)



### ●フロントワイパーデアイサーのカスタマイズ

リヤウインドウデフォグガーのカスタマイズに連動し、15分作動/連続作動に設定を変更することができます。

☆1-2ページ参照

#### 🏠 アドバイス

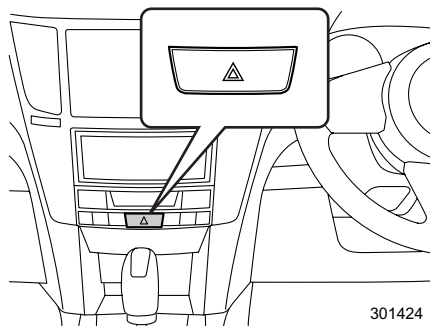
- 外気温度が5°C以上のとき、フロントワイパーデアイサーは作動しません。
- ワイパーデアイサーは消費電力が大きいので必要なとき以外はスイッチを切ってください。長時間使い続けると、バッテリー上がりの原因になります。
- 物が電熱線に当たらないように気をつけてください。
- 連続作動に設定していても、下記条件のときには、15分後に停止します。
  - ー 外気温度が5°C以上のとき
  - ー SI-DRIVEがI (インテリジェントモード) のとき
  - ー バッテリー電圧が低下したとき
- 連続作動に設定していても、車速 15 km/h以下が15分間続いたときには、自動的にOFFになります。

## ハザードランプ（非常点滅灯）スイッチ

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。

スイッチを押すと、全ての方向指示器のランプが点滅します。

故障などでやむを得ず路上に駐車するとき、他の車に自分の車の存在を知らせるために使います。



301424

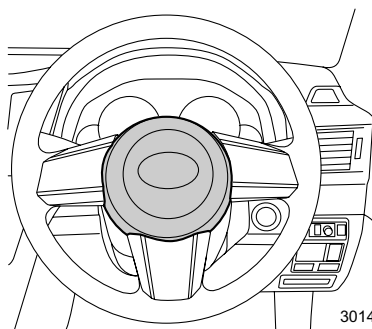
### アドバイス

- 非常時にお使いください。
- 長時間、点滅したままにしないでください。バッテリー上がりの原因になります。

運転するとき

## ホーンスイッチ

ハンドル中央のパッド面を押すとホーンが鳴ります。



301425

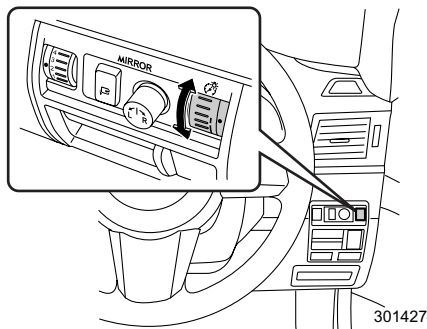
### アドバイス

エンジンスイッチの位置に関係なくホーンを鳴らすことができます。

## イルミネーションコントロールダイヤル

メーター内のライティングスイッチ表示灯が点灯しているとき、コントロールダイヤルを回すとコンビネーションメーター、エアコンなどの明るさを6段階に調整することができます。

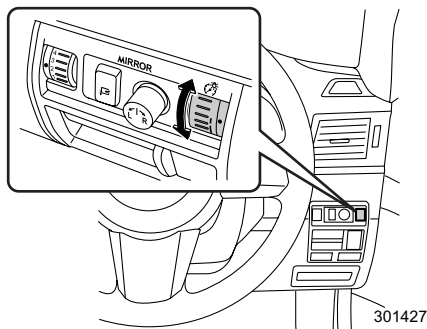
- 上方向に回すと明るくなります。
- 下方向に回すと暗くなります。



## ブライト（減光キャンセル）機能

メーター内のライティングスイッチ表示灯が点灯すると、表示部の明るさが一段減光し、暗くなります。昼間、ランプを点灯させて走るときで表示が見にくい場合は、減光をキャンセルし、明るくすることができます。

ダイヤルを一番明るい段階からさらに一段階（●印部分）、上方向に回すと減光がキャンセルされ、明るくなります。





# メーター、表示灯、警告灯の見かた

## メーター

### ■メーターの初期作動

メーターは、エンジンスイッチをONにするとメーターの全ての指針が一度最大値を指し、すみやかに戻ります。(スワイプ機能)

#### アドバイス

メーターの初期作動(スワイプ機能)は作動あり/作動なしの設定ができません。

☆3-29ページ参照

### ■スピードメーター

車の走行速度を示します。

#### アドバイス

速度警告装置はありません。  
スピードを出し過ぎないようにしてください。

### ■タコメーター(エンジン回転計)

毎分のエンジン回転数を示します。

#### 注意

指針がレッドゾーン(エンジンの許容回転数を超えている範囲)に入らないように運転してください。

指針がレッドゾーンに入る運転を続けるとエンジンなどが損傷することがあります。

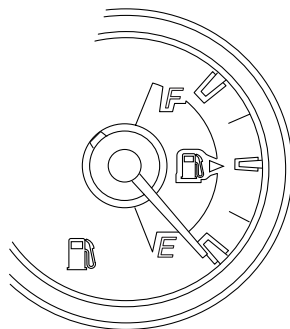
#### アドバイス

- アイドリング時に電気負荷が変動すると、エンジン回転数が変動することがあります。
- 極低速時、または停車時にハンドルを操作すると、エンジン回転数が変動することがあります。

## ■フューエルメーター（燃料計）

燃料の残量を示します。指針が「E」に近づいたら早めに給油をしてください。

☆2-37ページ参照



301428



### 注意

燃料給油するときは、必ずエンジンを止めてください。

☆1-27ページ参照

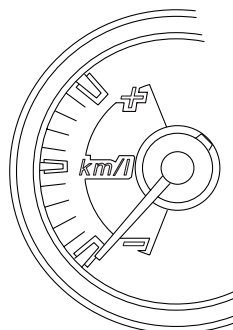


### アドバイス

- エンジンスイッチがONのとき、燃料の残量を示します。ON以外の場合はトリップ切り替え/トリップリセットノブを押すと一定時間燃料の残量を表示します。
- 給油後の残量はエンジンを始動すると示します。また、指針が安定するまでしばらく時間がかかります。
- 指針と消費量（残量）の関係は必ずしも正確ではありません。目安として活用してください。
- 坂道やカーブ、急発進、急停車などではタンク内の燃料が移動するため、指針が振れることがあります。
- エンジンスイッチがONのまま燃料を補給すると、正しい燃料残量が表示されません。
- 給油量が少ない場合（約 15ℓ以下）、指針が安定するまでしばらく時間がかかります。

## ■ECOゲージ

トリップメーターをリセットしてからの平均燃費と瞬間燃費の差を表示します。平均燃費よりも瞬間燃費が良い場合は+側、悪い場合は-側を表示します。



301458

### アドバイス

- ECOゲージはあくまでも目安です。
- 平均燃費は、トリップメーターリセット後、1 km 走行すると表示されます。表示されるまでの間、ECOゲージは作動しません。

## ■オドメーター（積算距離計）

走行した総距離をkmで表示します。

00 1228

301429

### アドバイス

エンジンスイッチがON以外の位置でもトリップ切り替え/トリップリセットノブを押すと、一定時間バックライトが点灯し、オドメーター・トリップメーターが表示されます。

## ■トリップメーター（区間距離計）

ある区間に走行した距離を知りたいとき使います。表示範囲は0.0 km～9999 kmです。

**A** 122.8

**B** 119.4

301430

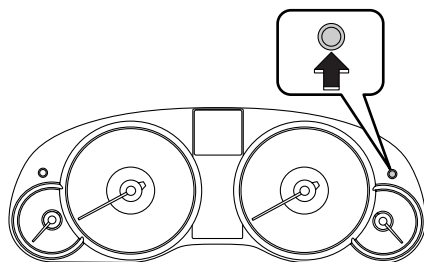
### アドバイス

エンジンスイッチがON以外の位置でもトリップ切り替え／トリップリセットノブを押すと、一定時間バックライトが点灯し、オドメーター・トリップメーターが表示されます。

## ●トリップA、B切り替え

トリップ切り替え／トリップリセットノブを押すごとに、次のように表示が切り替わります。

TRIP **A**   ← →   TRIP **B**



301605

## ●トリップA、Bを0に戻すとき

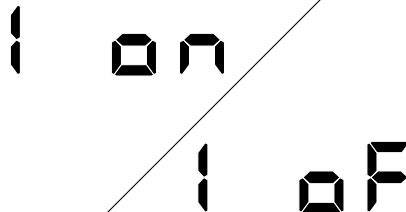
トリップAまたはトリップBのうち、リセットしたい方を表示させ、トリップ切り替え／トリップリセットノブを押し続けると0に戻ります。

## ■メーターの初期設定

### ●指針の初期作動（スイープ機能）の設定のしかた

指針の初期作動は次の操作により作動あり／作動なしの設定ができます。

- ① エンジンスイッチをON以外の位置にしてください。
- ② トリップ切り替え／トリップリセットノブを押し、表示を切り替えます。  
トリップ表示の次に現在の設定が表示されます。
- ③ このときトリップ切り替え／トリップリセットノブを2秒以上押すと切り替わります。



301431

運転するとき

## 表示灯

### ■方向指示器表示灯

方向指示器の点滅を示します。



#### アドバイス

方向指示器の電球やヒューズが切れたとき、またワット数の異なった電球を使用すると点滅の早さが異常になります。

すみやかに点検し、異常のある電球やヒューズを交換してください。

☆8-40ページ参照

### ■ライティングスイッチ表示灯

ライティングスイッチが☺☺または☺☺位置のときに点灯します。

オートライト装着車は、ライティングスイッチがAUTO位置のとき、周囲が暗くなると点灯します。



### ■ハイビーム／パッシング表示灯

ヘッドランプが上向きするとき点灯します。

また、パッシング時も点灯します。



## ■フロントフォグランプ表示灯



フロントフォグランプが点灯しているとき表示灯が点灯します。

### 🏠 アドバイス

フロントフォグランプは、光束が拡散するように設計しているため、ヘッドランプの代わりにはなりません。また、使用方法を誤ると、まわりの車や対向車へ迷惑をかけることとなります。郊外や山間部での濃霧などで見通しが悪いときだけ使用してください。

## ■セキュリティ表示灯



キーレスエントリー（キーレスアクセス機能、電波式リモコンドアロック）で全てのドア（リヤゲート含む）およびトランクを施錠すると盗難警報装置が監視状態に入り、表示灯が点滅します。

### ⚠️ 注意

盗難警報装置が作動中、キーを使ってドアを開けると車両ホーンが鳴り、非常点滅灯（ハザードランプ）が点滅します。

☆2-26ページ参照

## ●イモビライザー装備車

通常は点滅しています。

次のことを行った場合、表示灯は消灯します。

- アクセスキーを携帯しプッシュエンジンスイッチを押して Acc にしたとき（プッシュスタート装着車）
- エンジンスイッチにキーを差し込んだとき（プッシュスタート装着車以外）

### 🏠 アドバイス

登録されていないキーを使用すると表示灯が点灯します。（プッシュスタート装着車以外）

☆3-43ページ参照

## ■シフトポジション表示灯

選択しているギヤ位置を表示します。

マニュアル車は燃費効率の良い運転ができるように、シフトアップのタイミングをお知らせするため▲印が点滅します。

☆3-58ページ参照

オートマチック車およびCVT車はマニュアルモード選択時、シフトアップ、シフトダウンへの変速が可能状態であることを示す◆印が点灯します。

☆3-71ページ参照

マニュアル車



オートマチック車  
およびCVT車



301432

## ●シフトポジション表示灯のカスタマイズ（マニュアル車）

シフトポジション表示灯は、次の操作により表示あり／表示なしの設定ができます。

- ① エンジンスイッチをON以外の位置にしてください。
- ② トリップ切り替え／トリップリセットノブを押し、表示を切り替えます。
- ③ 指針の初期動作（スイープ機能）の設定表示の次に、現在の設定が表示されます。
- ④ このときトリップ切り替え／トリップリセットノブを2秒以上押しと切り替わります。



301397

## ■リヤフォグランプ表示灯

リヤフォグランプが点灯しているときに表示灯が点灯します。



### 🏠 アドバイス

リヤフォグランプは使用方法を誤ると、後続車へ迷惑をかけることとなります。郊外や山間部での濃霧などで見通しが悪く、後続車に自分の位置を知らせる必要があるときにだけ使用してください。

## ■VDC OFF表示灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。

VDC OFFスイッチを押してVDCを作動停止状態にしたときに点灯します。

☆5-26ページ参照

## ■クルーズコントロール表示灯

CRUISE

クルーズコントロールのメインスイッチを押すと表示されます。

表示灯が点灯すると、クルーズコントロールシステムの速度設定ができます。

☆3-74ページ参照

### 注意

もし走行中にこの表示灯の点滅とエンジン警告灯の点灯が同時に発生したときは、直ちに車を安全な場所に停めてスバル販売店に連絡し、点検を受けてください。

### アドバイス

- エンジンスイッチONで点灯、約3秒後消灯します。
- クルーズコントロールのいずれかのスイッチを押しながらエンジンを始動させると、この表示灯が点滅します。この場合、一旦エンジンスイッチをOFFにして再度エンジンを始動してください。

## ■クルーズコントロール車速セット表示灯

SET

エンジンスイッチをONにすると点灯し、約3秒後に消灯します。

クルーズコントロール表示灯が点灯している状態で、任意の速度を設定したときに表示されます。

☆3-74ページ参照

## ■I (インテリジェントモード) 表示灯

[ I ]

SI-DRIVEのI (インテリジェントモード) を選択すると点灯します。

☆3-58、3-71ページ参照

### 注意

エンジンスイッチがONでも点灯しない場合、および表示灯が点滅しSI-DRIVEセレクターを操作しても切り替わらない場合は、システムの異常が考えられますので、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。



## ■S（スポーツモード）表示灯

[S]

SI-DRIVEのS（スポーツモード）を選択すると点灯します。

☆3-58、3-71ページ参照

### 注意

エンジンスイッチがONでも点灯しない場合、および表示灯が点滅しSI-DRIVEセレクターを操作しても切り替わらない場合は、システムの異常が考えられますので、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。

## ■S#（スポーツシャープモード）表示灯

[S#]

SI-DRIVEのS#（スポーツシャープモード）を選択すると点灯します。

☆3-58、3-71ページ参照

### 注意

表示灯が点滅しSI-DRIVEセレクターを操作しても切り替わらない場合は、システムの異常が考えられますので、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。

### アドバイス

エンジン冷間時、S#（スポーツシャープモード）を選択しても切り替えができません。この場合ブザーが鳴り、切り替えができないことをお知らせします。

## ■半ドア表示灯



エンジンスイッチの位置に関係なく、開いているドア（リヤゲート／トランクを含む）を表示します。

### アドバイス

半ドア警告灯に連動し点灯します。  
☆3-36ページ参照

## ■ヒルホールド表示灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。

ヒルホールドスイッチを押してヒルホールド機能をONにすると点灯します。

☆3-54ページ参照

### 注意

ヒルホールドスイッチを押しても点灯しない場合は、システムの異常が考えられますので、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。

## 警告灯

### ■ブレーキ警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。(電動パーキングブレーキがかかっていないとき)

エンジン回転中、次の場合に点灯します。

- 電動パーキングブレーキがかかっているとき
- ブレーキ液が著しく不足しているとき
- エレクトロニック ブレーキフォース ディストリビューション (EBD) の電子制御システムに異常があるとき

EBDの電子制御システムに異常があるときはABS警告灯も同時に点灯します。


☆5-24ページ参照

電動パーキングブレーキが作動できない条件のときにスイッチを操作すると、警告灯が約10秒間点滅しお知らせします。

電動パーキングブレーキシステムに異常があるときは、警告灯が点滅し続けます。

### 警告

- 警告灯が点滅し続けたときはシステムに異常がありますので、直ちに安全な場所に停車し、スバル販売店にご連絡ください。
- エンジン回転中に電動パーキングブレーキを解除しても警告灯が消灯しないとき、またはブレーキ液を補充しても消灯しないときは、直ちに安全な場所に停車し、スバル販売店に連絡し、点検を受けてください。

 **注意**

ブレーキ液が正常で、ABS警告灯も同時に点灯している場合は、アンチロックブレーキシステム（ABS）に異常が発生している可能性があります。そのため、強めのブレーキの際に車両が不安定になるおそれがあります。直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

 **アドバイス**

- 電動パーキングブレーキが作動中にエンジンスイッチをOFFにする、またはエンジンスイッチがOFFのとき電動パーキングブレーキを作動させた場合は、ブレーキ警告灯が約30秒間点灯し、その後消灯します。
- 頻繁に電動パーキングブレーキのスイッチ操作を繰り返した場合、約20秒間ブレーキ警告灯が点滅します。この場合は時間をおいて操作してください。
- エンジンを始動した直後にランプが点滅する場合がありますが、その後、電動パーキングブレーキを解除したときにランプが消灯すれば正常です。

**■シートベルト警告灯**

エンジンスイッチがONで運転席シートベルトが未着用の場合、メーター内の警告灯が点灯します。運転席シートベルトを着用すると消灯します。


運転席シートベルト未着用のまま車速約 22 km/h 以上で走行すると警告灯が点滅し、ブザーが鳴ります。

上記作動は運転席シートベルトを着用するまで約2分間続きます。

約2分経過しても運転席シートベルト未着用の場合、警告灯が点滅から点灯に切り替わり、ブザーは停止します。

警告灯は運転席シートベルトを着用するまで点灯します。

☆2-65ページ参照

 **アドバイス**

このとき車速が約22 km/h以下になっても、上記作動は運転席シートベルトを着用するまで約2分間続きます。

## ■半ドア警告灯



エンジンスイッチの位置に関係なくドアが完全に閉じていないときに点灯します。

リヤゲートまたはトランクが完全に閉じていないときも点灯します。

### 注意

警告灯が点灯したままの状態で行きしないでください。

### アドバイス

半ドア表示灯に連動し点灯します。

☆3-33ページ参照

## ■ABS警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。

アンチロックブレーキシステム（ABS）の電子制御システムに異常があると点灯します。

☆5-22ページ参照

### 注意

警告灯が点灯するとABSは作動せず通常のブレーキとして作動します。走行上支障ありませんが、滑りやすい路面では気をつけて運転し、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。

### アドバイス

警告灯が次の場合は正常です。

- エンジン始動後に警告灯が点灯してすぐに消灯し、その後再び点灯しない。
- エンジン始動後に警告灯が点灯したままであるが、車速12 km/hになったとき消灯する。
- 走行中に点灯してもその後消灯し、再度点灯しない。

## ■AWD警告灯（オートマチック車およびCVT車）

AWD

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後約2秒後に消灯します。

異なる径のタイヤをいずれかの車輪に取り付けて走行したとき点滅します。

または4本のタイヤのいずれかの空気圧が著しく低下したまま走行しているときに点滅する場合があります。

☆5-20ページ参照

### ⚠ 注意

- AWD 警告灯が点滅したまま走行を続けると、駆動装置が損傷する可能性があります。AWD 警告灯が点滅したときは、すみやかに安全な場所に駐車し、4本のタイヤ径が同じかどうか、また、タイヤのパンクもしくは空気圧の低下がないかどうか確認してください。
- タイヤに異常がない場合には、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。

## ■SRSエアバッグ警告灯



運転するとき

エンジンスイッチをONにすると点灯し、約6秒後に消灯します。

運転席・助手席エアバッグ、サイドエアバッグ（装着車）、カーテンエアバッグ（装着車）、エアバッグセンサー、シートベルトプリテンショナーのいずれかに異常があると点灯します。

### ⚠ 警告

- 警告灯が次のようになったときはシステム異常が考えられますので走行しないでください。衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。  
直ちにスバル販売店で点検を受けてください。
  - － エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき
  - － 走行中に点灯したとき
- 警告灯がシステム異常を示している場合、軽微な衝撃でSRSエアバッグが作動したり、大事故でも作動しない場合があります。

## ■オイルプレッシャー警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後に消灯します。  
エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているエンジンオイルの圧力に異常があると点灯します。

### ⚠ 注意

走行中に点灯したときは、直ちに安全な場所に停車し、エンジンを止めてエンジンオイル量を点検してください。エンジンオイル量が正常にもかかわらず点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、直ちにスバル販売店にご連絡ください。

### 🏠 アドバイス

オイルプレッシャー警告灯はオイル量を示すものではありません。  
オイル量の点検はオイルレベルゲージで行ってください。

## ■AT油温警告灯（オートマチック車およびCVT車）

AT OIL  
TEMP

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後約2秒後に消灯します。  
ATまたはCVTのトランスミッションフルードの温度が高くなると点灯します。

### ⚠ 注意

- 走行中に点灯したときは、冷却のため直ちに安全な場所に停車し、セレクタレバーをPにしてエンジンをかけたままにしてください。しばらくして消灯すれば走行できます。消灯しないときは、直ちにスバル販売店にご連絡ください。
- AT 油温警告灯が点滅したときは、オートマチックトランスミッションまたはCVTに異常があります。直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

## ■チャージ警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後に消灯します。  
エンジン回転中、充電系統に異常があると点灯します。

### ⚠ 注意

エンジン回転中に点灯したときは、発電機の駆動ベルト切れなどが考えられます。直ちに安全な場所に停車し、スバル販売店にご連絡ください。



## ■エンジン警告灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後に消灯します。  
エンジン回転中、エンジン電子制御システムの異常があると点灯します。  
エンジン回転中、触媒を損傷する可能性があるると点滅します。

### ⚠ 注意

- エンジン回転中に点灯したときは、エンジン電子制御システムに異常があります。  
高速走行を避け、直ちにスバル販売店で点検を受けてください。
- エンジン回転中に点滅したときは、触媒を損傷する可能性があります。  
触媒の損傷を防ぐため、次のことを行ってください。
  - － 速度を落として走行してください。
  - － 急発進、急加速を避けてください。
  - － 急な上り坂を避けてください。
  - － 可能であれば荷物を減らしてください。

上記の処置をしてもエンジン警告灯が点滅したままの場合、または点灯に変わった場合は、直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

## ■燃料残量警告灯

エンジンスイッチがONのとき、燃料残量が約9リットル以下になると点灯します。



### ⚠ 注意

点滅したときはフューエルメーター（燃料計）に異常があります。このとき正しい燃料残量は表示されません。直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

### 🏠 アドバイス

- 点灯したときは、すみやかに燃料を補給してください。
- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、警告灯が早めに点灯することがあります。

## ■VDC警告灯/VDC作動表示灯



VDC警告灯はエンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後約2秒後に消灯します。

VDCの電子制御システムに異常があると点灯します。

TCS機能作動時、またはVDC作動時に点滅します。

☆5-26ページ参照

### 注意

- VDCの作動にABSの構成部品を使っているため、ABSの電子制御システムに異常があるときはABS警告灯の点灯と同時にVDC警告灯も点灯します。VDC警告灯とABS警告灯が同時に点灯したときは、VDCはもちろんABSも作動しません。通常のブレーキとしては作動しますので、走行上支障はありませんが、滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。
- VDC警告灯のみが点灯したときは、VDC機能やTCS機能は作動しません。ABSは作動します。VDCの付いていない車両と同じように扱ってください。滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。
- エンジンを始動してから数分たっても消灯しない場合は異常が考えられますので、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。

### アドバイス

- 警告灯が下記の場合は正常です。
  - － エンジン始動後、警告灯が点灯したがすぐに消灯し、その後再び点灯しない。
  - － エンジン始動後に警告灯が点灯したままであるが、その後走行中に消灯する。
  - － 走行中に点灯してもその後消灯し、再度点灯しない。
- 寒い日の朝などにエンジンを始動させた場合、消灯までに時間がかかる場合がありますが、これは異常ではありません。



## ■オートヘッドランプレベラー警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、約3秒後に消灯します。  
エンジン回転中、オートヘッドランプレベラー（自動光軸調整機構）の電子制御システムに異常があると点灯します。

☆3-11ページ参照

### ⚠ 注意

オートヘッドランプレベラー警告灯が点灯したときは、照射方向の自動調整が行われない場合があります。直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

## ■電動パーキングブレーキ警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。  
システムに異常があるときは、警告灯が点灯します。

☆3-53ページ参照

### ⚠ 警告

警告灯が点灯し続ける場合はシステムに異常がありますので、直ちに安全な場所に停車し、スバル販売店にご連絡ください。

### 🏠 アドバイス

警告灯が次の場合は正常です。

- エンジン始動後に警告灯が点灯したままであるが、その後電動パーキングブレーキを解除したときに消灯し、再度点灯しない。
- 走行中に点灯しても、その後直ちに消灯し、再度点灯しない。

## ■水温警告灯／水温表示灯



エンジンスイッチをONにすると、約2秒間赤く点灯し、その後消灯あるいは青く点灯します。エンジン冷却水温の低温を示す表示灯（青点灯）と高温を示す警告灯（赤点滅と赤点灯）があります。


### ●水温表示灯（青色）

水温が低いときに点灯します。水温が上がると消灯します。

### ●水温警告灯（赤色）

水温がオーバーヒート手前の温度になると点滅し、オーバーヒートになると点灯します。点滅または点灯したときは、オーバーヒートの処置を行い、スバル販売店で点検を受けてください。

☆8-26ページ参照

 **注意**

- エンジンスイッチをONにした後、約2秒以上たっても赤く点灯し続けた場合、または赤／青に交互に点灯した場合は、電気系統の異常が考えられます。直ちにスバル販売店で点検を受けてください。
- 暖機後も水温表示灯（青色）が点灯し続ける場合は、冷却系統などに異常が考えられます。すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。


 **アドバイス**

走行状態により、再始動時しばらくの間赤く点灯する場合がありますが、消灯すれば異常ではありません。

■ **ステアリング制御警告灯**



エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後約2秒後に消灯します。エンジン回転中、パワーステアリングの電子制御システムに異常があると点灯します。

 **注意**

ステアリング制御警告灯が点灯しているときは、ハンドル操作が重くなる場合があります。気をつけて運転し、直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

■ **キー無し警告灯（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車）**



エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。

車内にアクセスキーがない場合に点滅します。

☆2-16ページ参照

# 運転装置の使いかた

## イモビライザー(盗難防止用エンジン始動ロックシステム)

イモビライザーキーには、個々の違った識別コードが登録されています。キーの識別コードが正しければエンジンを始動できますが、未登録のキーや識別コードの異なるキーなどではエンジンを始動することができません。



### 注意

キーは水にぬらさないでください。



### アドバイス

- イモビライザー機能は車両自体の盗難を防ぐ装置であり、車室内への侵入を防ぐ機能はありません。車から離れるときは必ずドアをロックしてください。
- イモビライザーキーは、最大7つ（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車）または4つ（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外）まで登録できます。スペアのアクセスキーまたはリモコンキーが必要な場合は、スバル販売店にご相談ください。
- セキュリティIDプレートは車両以外の場所で大切に保管してください。セキュリティIDプレートに打刻されているセキュリティIDが合いかぎを作る際、必要になります。
- 万一、キーを紛失したときには、盗難を防ぐため全てのキーの再登録をお奨めします。  
登録は、スバル販売店でのみ行えます。

運転するとき

## ■セキュリティ表示灯



### ●キーレスアクセス&プッシュスタート装着車

プッシュエンジンスイッチを押していないときは点滅しています。正規のアクセスキーを携帯し、プッシュエンジンスイッチを押すと消灯します。

正規のアクセスキー以外を携帯し、プッシュエンジンスイッチを押した場合、表示灯は点滅したままでエンジンを始動できません。

### ●キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外

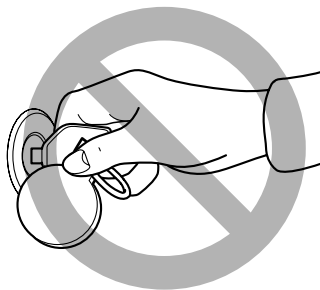
エンジンスイッチにキーが差し込まれていないときは点滅しています。エンジンスイッチにキーを差し込むと消灯し、エンジンの始動ができます。正規のキー以外を使うと、表示灯が点灯しエンジンを始動できません。もし、正規のキーを使っても始動できない場合、一旦キーを抜いて再度やり直してください。

**注意**

キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外のキーは、次のことに注意してください。

- 強い磁石の近くにはキーを置かないでください。イモビライザーの誤作動の原因になるおそれがあります。
- ダッシュボードの上など高温になる場所にキーを置かないでください。
- キーを水にぬらさないでください。
- 次のような場合、車両がキーからの信号を正確に受信できず、エンジンの始動ができない場合があります。

- ① キーグリップに金属製のものが接しているとき



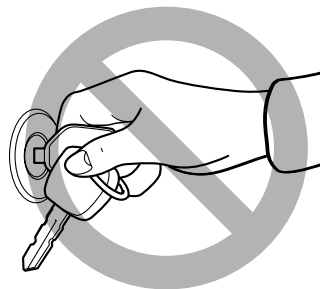
301558

- ② キーグリップに他のキーの金属部が接しているとき



301559

- ③ キーが他の車両のイモビライザーシステム用キー（信号発信機内蔵のもの）と近いとき



301560

- ④ キーが他の信号発信機と近いときや接しているとき

## アドバイス

エンジンスイッチにキーを差したままにしておくと、セキュリティ表示灯が再度点滅しますが、エンジン始動はできます。(キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外)

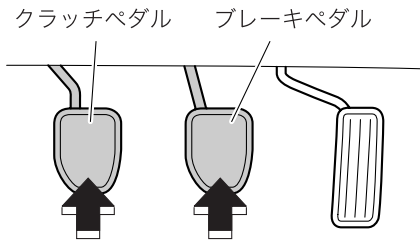
## エンジンの始動と停止のしかた (キーレスアクセス&プッシュスタート装着車)

### ■エンジンの始動

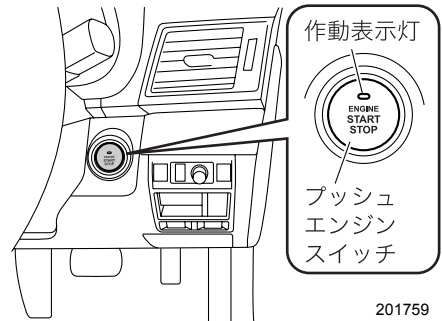
#### ●マニュアル車

- ① アクセスキーを携帯し運転席に座ります。
- ② 電動パーキングブレーキスイッチを押し、電動パーキングブレーキが確実にかかっていることを確認します。
- ③ チェンジレバーがニュートラルであることを確認します。
- ④ ブレーキペダルを踏みます。
- ⑤ プッシュエンジンスイッチの作動表示灯が緑色になるまで、クラッチペダルを確実に踏み込みます。
- ⑥ クラッチペダルを確実に踏んだまま、プッシュエンジンスイッチを押します。  
エンジンが始動するまでクラッチペダルを踏み続けてください。

運転するとき



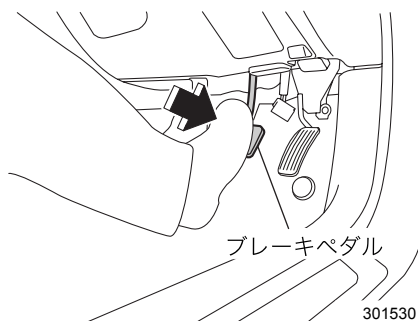
301529



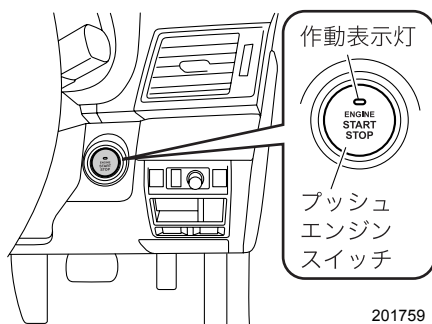
201759

## ●オートマチック車およびCVT車

- ① アクセスキーを携帯し運転席に座ります。
- ② 電動パーキングブレーキスイッチを押し、電動パーキングブレーキが確実にかかっていることを確認します。
- ③ セレクトレバーが[P]であることを確認します（[N]でも始動できますが、安全のため[P]で始動してください）。
- ④ プッシュエンジンスイッチの作動表示灯が緑色になるまで、ブレーキペダルを踏み込みます（[N]で始動する場合、作動表示灯は緑色になりません）。



- ⑤ ブレーキペダルを確実に踏んだまま、プッシュエンジンスイッチを押します。エンジンが始動するまでブレーキペダルを踏み続けてください。



### 警告

- 車外からのエンジン始動は絶対に行わないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行中エンジンを止めると触媒が過熱して焼損することがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところではエンジンをかけたままにしないでください。車内や屋内などに排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒に陥るおそれがあります。
- エンジン始動操作をしたとき、プッシュエンジンスイッチ内の表示灯が緑色に点滅している場合は、絶対に走行しないでください。ステアリングロックが解除されていない状態で、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ⚠ 注意

- エンジンを始動するときは必ず運転席に座って行ってください。
- プッシュエンジンスイッチ内の表示灯が橙色に点滅しているときは、車両の異常が考えられます。直ちにスバル販売店にご連絡ください。
- 10秒以上プッシュエンジンスイッチを押し続けしないでください。スターターが回り続けるため、故障の原因になります。
- エンジン始動操作をしたとき、プッシュエンジンスイッチ内の表示灯が緑色に点滅しているときは、ステアリングロックが解除されていません。ハンドルを左右に動かしながら、ブレーキペダルを踏み、プッシュエンジンスイッチを押してください。
- バッテリーが上がるとステアリングロックが解除できません。バッテリーを充電してください。
- バッテリー上がりおよびバッテリー交換後は、ステアリングロックシステムの初期化を行わないとエンジンが始動しない場合があります。その際はステアリングロックの初期化※を行ってください。

### ※ ステアリングロックの初期化

MT車はチェンジレバーをニュートラルの位置に、AT車およびCVT車はセレクトレバーをPの位置にします。

電源をOFFにして運転席ドアを開閉し、約10秒間お待ちください。ステアリングがロックされれば初期化は完了しています。

## 🏠 アドバイス

- マニュアル車には誤操作防止のため、クラッチ・スタートシステムが装備されています。クラッチペダルをいっばいに踏み込まないとスターターが回らず、エンジンがかからないようになっています。
- ブレーキペダル（オートマチック車およびCVT車）もしくはクラッチペダル（マニュアル車）を踏みながらプッシュエンジンスイッチを押すと最大10秒間スターターが回ります。エンジンが始動するとスターターは止まります。
- 3.6Rおよび2.5iは、停車時にアクセルを踏み込んでも、エンジンが高回転まで上がらないようになっています。
- エンジンの始動直後は、急激な空吹かしや、急加速などをしないでください。
- エンジンがかかった後は水温表示灯（青色）が点灯している間、アイドリング回転が高めに保たれます。暖機が終わると自動的に下がります。

次ページへ ⇒

⇒前ページより

- 使用するガソリンや使用状態（水温表示灯（青色）が消灯しない程の距離の走行を繰り返す）によっては、エンジンがかかりにくくなることまれに発生します。その場合、他ブランドのガソリンに切り替えることをお奨めします。
- 始動の際、電装品をOFFにした方が、容易に始動します。
- エンジン始動時にセキュリティ表示灯が点灯してエンジンがかからない場合は、一度プッシュエンジンスイッチを押して電源をOFFにしてから、再度エンジン始動を行ってください。
- エンジンが始動しない場合は、一度電源をOFFに戻してください。10秒間放置してからもう一度ブレーキペダル（オートマチック車およびCVT車）もしくはクラッチペダル（マニュアル車）を強く踏みながらプッシュエンジンスイッチを押してください。
- エンジンが始動していないときは、ブレーキペダルが硬く感じる場合があります。そのときは通常よりも強くブレーキペダルを踏んで作動表示灯が緑色になることを確認してからプッシュエンジンスイッチを押し、エンジンを始動してください。
- 周辺の電波状況により、通常手順のドアの施錠・解錠およびエンジン始動ができないことがあります。そのときは、「アクセスキーが正常に作動しないとき」を参照してドアの施錠・解錠およびエンジン始動を行ってください。

☆8-65ページ参照

- 急発進、急加速時など、急なアクセル操作時、まれにエンジンから過渡的なノッキングが聞こえることがありますが、異常ではありません。

### 緊急時のエンジン始動方法

通常手順のエンジン始動でエンジンが始動しないときは、次の方法を行ってください。エンジンが始動する場合があります。（緊急時以外は、この方法でエンジンを始動しないでください。）

- オートマチック車およびCVT車はセレクトレバーを[P]にしてから電源の状態をAccにしてブレーキペダルを踏み、プッシュエンジンスイッチを約15秒以上押し続けてください。
- マニュアル車はチェンジレバーをニュートラルにしてから電源の状態をAccにしてクラッチペダルを踏み、プッシュエンジンスイッチを約15秒以上押し続けてください。



## ■エンジンの停止

車両を完全に停止させ、プッシュエンジンスイッチを押してください。このときエンジンが停止し、電源がOFFになります。

ただし、オートマチック車およびCVT車はセレクトレバーを[P]に入れてからエンジンスイッチを押さないと電源がOFFになりません。

### 警告

- 走行中はプッシュエンジンスイッチにさわらないでください。プッシュエンジンスイッチを約3秒以上押し続けるとエンジンが停止します。エンジンが停止するとブレーキブースター（制動力倍力装置）が効かなくなり、ペダルを踏むときに通常より強い力が必要となります。また、パワーステアリング機能が働かずハンドル操作が重くなり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行中にエンジンが停止した場合、安全な場所で車両が停止するまでプッシュエンジンスイッチを操作したり、ドアを開けたりしないでください。ステアリングロックが作動する可能性があり危険です。安全な場所に停止させた後、直ちにスバル販売店にご連絡ください。

### 注意

オートマチック車およびCVT車は以下のことに注意してください。

- [P]以外でエンジンを停止しないでください。
- [P]以外でエンジンを停止した場合、電源はAccになるためそのまま放置するとバッテリー上がりの原因となります。

### アドバイス

走行中、プッシュエンジンスイッチを約3秒以上押し続けると、エンジンを停止させることができます。緊急時以外は走行中にエンジンを停止させないでください。

## ■警告一覧表

室内ブザー 警報	室外ブザー 警報	メーター内 キー無し 警告灯表示	プッシュ エンジン スイッチ内 作動表示灯	状況	対処方法
ポーン	—		—	キーレスアクセス&プッシュスタート機能を、アクセスキーを使用して停止させた状態でプッシュエンジンスイッチを押した。	機能を復帰させるか、「アクセスキーが正常に作動しないとき」の方法でエンジン始動させてください。
ポーン	—		—	車内にアクセスキーがない状態でプッシュエンジンスイッチを押した。	アクセスキーを携帯してプッシュエンジンスイッチを押してください。
ポーン	—	—	—	電源をOFFにした。	アクセスキーの電池残量が低下しているので、電池を交換してください。
—	—	—	緑点滅 (最長15 秒間)	エンジン始動操作をしたが、ハンドルのロックが解除されていない。	ハンドルを軽く左右に回しながら、ブレーキペダルを踏み、プッシュエンジンスイッチを押してください。
—	—	—	橙点滅	電源システムやステアリングロックの異常が検出された。	直ちにスバル販売店に連絡し、点検を受けてください。
—	—	—	緑点滅	電源がOFFで運転席を開けたときに、クラッチの位置検出スイッチの異常が検出された。	直ちにスバル販売店に連絡し、点検を受けてください。

## エンジンの始動と停止のしかた (キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外)

### ■エンジンの始動

#### ●マニュアル車

- ① 電動パーキングブレーキスイッチを押し、電動パーキングブレーキが確実にかかっていることを確認します。
- ② チェンジレバーがニュートラル位置であることを確認します。
- ③ 運転席に座り、ブレーキペダルを踏みます。
- ④ クラッチペダルを確実に踏み込みます。
- ⑤ エンジンスイッチにキーを差し込みSTARTまでスイッチを回します。このとき、アクセスルペダルを踏まずに、エンジンが始動するまでスターターを回します。(10秒以内)

## ●オートマチック車およびCVT車

- ① 電動パーキングブレーキスイッチを押し、電動パーキングブレーキが確実にかかっていることを確認します。
- ② セレクトレバーが[P]であることを確認します。(Nでも始動できますが、安全のため[P]で始動してください。)
- ③ 運転席に座り、ブレーキペダルを踏みます。
- ④ エンジンスイッチにキーを差し込みSTARTまでスイッチを回します。このとき、アクセルペダルを踏まずに、エンジンが始動するまでスターターを回します。(10秒以内)

### 警告

車庫や屋内などの換気の悪いところではエンジンをかけたままにしないでください。  
車内や屋内などに排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

### 注意

- エンジンを始動するときは必ず運転席に座って行ってください。
- 10秒以上スターターを回し続けしないでください。スターターが故障する原因になります。かからないときは一旦、スイッチをOFFに戻し、10秒間放置してからもう一度エンジンスイッチを回し、スターターを回してください。

### アドバイス

- マニュアル車には誤操作防止のため、クラッチ・スタートシステムが装備されています。クラッチペダルをいっばいに踏み込まないとスターターが回らず、エンジンがかからないようになっています。
- 3.6Rおよび2.5iは、停車時にアクセルを踏み込んでも、エンジンが高回転まで上がらないようになっています。
- エンジンの始動直後は、急激な空吹きや、急加速などをしないでください。
- エンジンがかかった後は水温表示灯（青色）が点灯している間、アイドリング回転が高めに保たれます。暖機が終わると自動的に下がります。

次ページへ ⇒

⇒前ページより

- エンジンがかかりづらいときは、電動パーキングブレーキを再確認後、アクセルペダルをわずかに（1/4程度）踏み込んで、エンジンスイッチをSTARTに回します。エンジンがかからない場合はアクセルペダルをいっばいに踏み込んでエンジンスイッチをSTARTに回してください。エンジンがかかったらすみやかにアクセルペダルから足を離してください。それでもかからないときは、もう一度アクセルペダルを踏まずにエンジンスイッチをSTARTに回してください。エンジンがかからなければスバル販売店に連絡し、点検を受けてください。
- 使用するガソリンや使用状態（水温表示灯（青色）が消灯しない程の距離の走行を繰り返す）によっては、エンジンがかかりにくくなることまれに発生します。その場合、他ブランドのガソリンに切り替えることをお奨めします。
- 始動の際、電装品をOFFにした方が、容易に始動します。
- 極低温時に、リモコンエンジンスターターを使用すると、始動できない場合もあります。また、純正以外のリモコンエンジンスターターを使用すると、エンジンがかかりにくい場合や、スパークプラグのくすぶりを引き起こすことがあります。
- 急発進、急加速時など、急なアクセル操作時、まれにエンジンから過渡的なノッキングが聞こえることがありますが、異常ではありません。

## ■エンジンの停止

エンジン回転数がアイドル状態まで下がってから、エンジンスイッチを切ります。



### アドバイス

車両が停止した直後は、エンジン回転数がアイドル状態に戻るまで時間が多少かかることがあります。

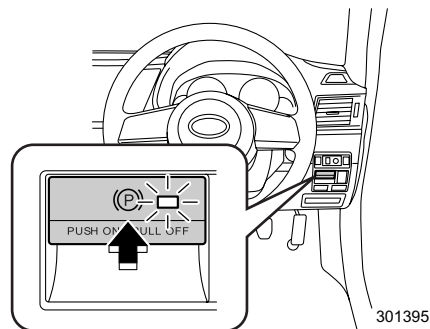
## 電動パーキングブレーキ

電動パーキングブレーキは、電気モーターでパーキングブレーキをかけるシステムです。エンジンスイッチの位置に関係なくかけることができます。エンジンスイッチがONのときに解除できます。

### ■ 電動パーキングスイッチでの操作

#### ● 電動パーキングブレーキをかけるとき

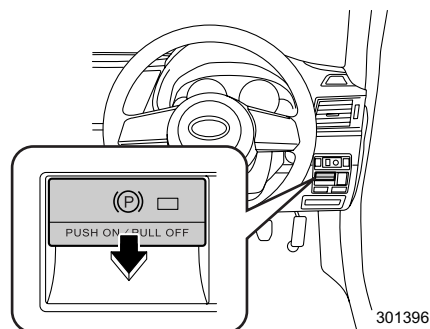
ブレーキペダルを踏み、電動パーキングブレーキスイッチを確実に押します。このとき、メーター内のブレーキ警告灯および電動パーキングブレーキスイッチ表示灯が点灯します。



301395

#### ● 電動パーキングブレーキを解除するとき

ブレーキペダル（マニュアル車はクラッチペダルも同時に踏む）を踏み、電動パーキングブレーキスイッチを手前に引きます。このとき、メーター内のブレーキ警告灯および電動パーキングブレーキスイッチ表示灯が消灯します。

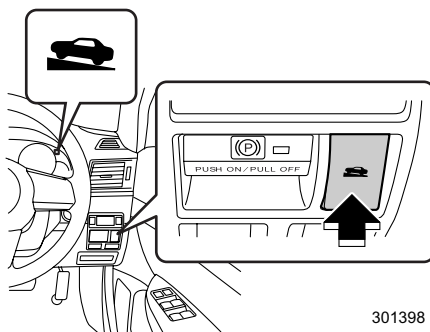


301396

## ■ヒルホールドスイッチ

スイッチを押すことでヒルホールド機能をONにすることができます。

このとき、メーター内のヒルホールド表示灯が点灯します。OFFにするにはもう一度スイッチを押します。



301398

## ■自動制御による機能

### ●アクセル自動解除機能

電動パーキングブレーキがかかっている状態で、次の場合にアクセルペダルを踏み込む（マニュアル車はクラッチをつなぎつつ）と、電動パーキングブレーキが自動的に解除されます。このとき、メーター内のブレーキ警告灯および電動パーキングブレーキスイッチ表示灯が消灯します。

- 全てのドアが閉まっている。
- 運転席シートベルトを装着している。

### ●ヒルホールド機能

ヒルホールド機能がONでの登坂時、ブレーキを踏んで停車した場合、停車の約1秒後に自動的に電動パーキングブレーキが作動します。このとき、メーター内のブレーキ警告灯および電動パーキングブレーキスイッチ表示灯が点灯します。

### ⚠ 警告

- システム異常により、電動パーキングブレーキが作動しないときは、直ちに安全な場所に停車し、スバル販売店にご連絡ください。やむなく駐車する場合は、水平な場所に停車し、オートマチック車およびCVT車は[P]、マニュアル車は“1”または“R”に入れた上で、輪止めを行ってください。
- オートマチック車およびCVT車で[P]に入らない場合は、エンジンスイッチをONからAcc<sup>※</sup>にし、ブレーキペダルを踏みながら[P]へ操作してください。（60秒以内）

※ キーレスアクセス&プッシュスタート装着車は、[P]以外でエンジン回転中にエンジンスイッチを押してエンジンを停止させた電源状態がAccになります。

- 走行するときは電動パーキングブレーキを解除し、ブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。システムに異常があり、電動パーキングブレーキが作動したまま走行すると、ブレーキ部品が早く磨耗する場合があります。後輪ブレーキが過熱して効かなくなることがあります。

## ⚠ 注意

- 車から離れるときは必ずエンジンを停止してください。電動パーキングブレーキが解除され、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 登坂での停車時は、ブレーキ警告灯が点灯してからブレーキを離してください。ヒルホールド機能が作動せず思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ブレーキシステム（フットブレーキ）が故障した場合は、電動パーキングブレーキスイッチを押し続けることで車両を停止させることができます。非常ブレーキを使用中は、メーター内のブレーキ警告灯およびスイッチ表示灯が点灯し、ブザーが鳴ります。
- 非常ブレーキの使用は、緊急時のみにしてください。過度に使用するとブレーキ部品が早く摩耗したり、後輪ブレーキが過熱して効かなくなることがあります。

## 🏠 アドバイス

- 電動パーキングブレーキはモーターの作動によりパーキングブレーキをかけるシステムのため、作動時にモーター音が聞こえます。かけるとき／解除するときはモーター音が聞こえることも確認してください。またチェンジレバーもしくはセレクトレバーを操作したとき、またはブレーキペダルを操作したときにもモーター音が聞こえることがあります。これは電動パーキングブレーキシステムが自動的にモーターを制御している音で正常です。
- ブレーキペダルもしくはクラッチペダル（マニュアル車）を踏まない場合、電動パーキングブレーキは解除できません。
- マニュアル車はクラッチペダルが踏み込まれていれば解除できますが、安全のため必要などき以外は、ブレーキペダルを踏んで解除してください。
- システム異常などによりかける／解除ができない場合、電動パーキングブレーキスイッチを操作するとブレーキ警告灯が点滅し、ブザーが鳴ります。
- スイッチ操作を途中で止めた場合や、極端にゆっくり操作した場合はシステムが異常を検知し警告灯が点灯することがあります。この場合は、一度エンジンスイッチを切り、再度エンジンを始動すれば元に戻ります。
- ゆるやかな坂道では、ヒルホールド機能が作動しない場合があります。その場合は、手で電動パーキングブレーキをかけてください。

次ページへ ⇒

⇒前ページより

- ブレーキペダルを確実に踏み込まずに停車した場合、ヒルホールド機能が作動しない、または作動が遅くなる場合がありますが異常ではありません。ブレーキペダルを確実に踏んで停車し、ブレーキ警告灯が点灯したことを確認してからブレーキペダルを離してください。
- 路面状態、ブレーキの踏み加減によっては一時的に車両が保持されたり、ブレーキペダルが硬くなったりして通常感覚と異なる場合がありますが異常ではありません。
- ヒルホールド機能がONのときにシステムに異常が発生した場合は、ブザーと共にヒルホールド表示灯が消灯し、電動パーキングブレーキ警告灯が点灯します。
- エンジンスイッチをOFFにし、再度エンジンスイッチをONにした場合、ヒルホールド機能はOFFになります。
- ヒルホールド作動後、電動パーキングブレーキを解除したまま停車し続けた場合は、再度作動しません。その場合は、手で電動パーキングブレーキをかけてください。
- ヒルホールドスイッチを30秒以上押し続けるとメーター内のヒルホールド表示灯が消灯および電動パーキングブレーキ警告灯が点灯し、以後の操作を受け付けなくなりますが、正常です。  
この場合は一度エンジンスイッチを切り、再度エンジンを始動すれば元に戻ります。
- 電動パーキングブレーキ警告灯が点灯しているときに、ヒルホールドスイッチを押すとブザーが鳴り、作動しません。

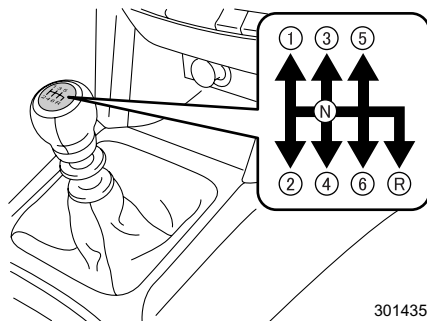


# マニュアル車の運転

## チェンジレバー

### ■チェンジレバーの操作

変速するときは、クラッチペダルをいっばいに踏み込んで確実に操作してください。

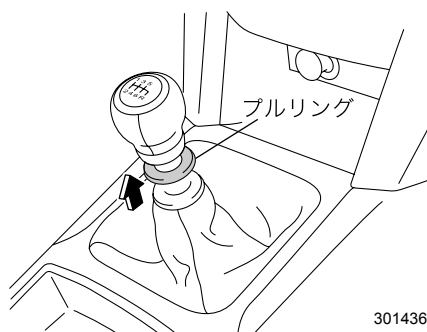


301435

“R”に入れるときはプルリングを引き上げたままレバーを操作してください。

“R”にするとブザーが鳴ります。

レバーを“N”に戻すと、プルリングは元の位置に戻ります。



301436

運転するとき

### ⚠ 注意

- レバーを“N”に戻してもプルリングが元の位置に戻らないときはシステムの異常が考えられます。この場合スバル販売店で点検を受けてください。
- チェンジレバーを“R”に入れるときは、車が完全に止まり、エンジン回転数がアイドリング状態まで下がってから、入れてください。エンジン回転数が高いままだとトランスミッションを損傷させることがあります。
- 半クラッチの連続使用はしないでください。クラッチ早期摩耗の原因になります。

### 🏠 アドバイス

- 変速時、ギヤが入りにくい場合は、一度クラッチを踏み直すと入りやすくなります。
- 後退した後は、すぐに“R”から“N”に戻す習慣をつけてください。

## ■シフトポジション表示灯

シフトアップ表示灯“▲”が点滅して、燃費効率の良い運転ができるようにシフトアップのタイミングをお知らせします。

- ①シフトアップ表示灯
- ②変速ギヤ表示



301527

## ●シフトポジション表示灯のカスタマイズ

シフトポジション表示灯は表示あり／表示なしの設定ができます。

☆3-31ページ参照

## SI-DRIVE (SUBARU Intelligent Drive)

SI-DRIVE<sup>※</sup>は、3つの特性をもった走行モードの、I (インテリジェントモード)、S (スポーツモード)、S# (スポーツシャープモード) を選べるシステムです。

I (インテリジェントモード) :

ストレスのない走行性と低燃費を両立させたモードです。市街地走行などの日常の使用に適しています。また、メーターのシフトアップ表示灯が点滅し、運転者に燃費の良いシフトアップタイミングをお知らせします。シフトアップ表示灯の表示あり／表示なしを設定できます。

☆3-31ページ参照

S (スポーツモード) :

「I」よりも走行性を向上させ、場所を選ばない走行モードです。高速道路での巡航時や郊外の道を走行するのに適しています。

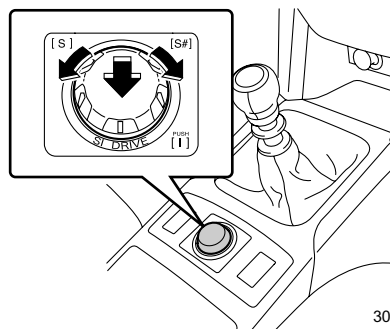
S# (スポーツシャープモード) :

最高の走行性を引き出すモードです。山間部での走行や高速道路の合流、追い越し加速時などに適しています。

※SI-DRIVEは、SUBARU Intelligent Driveに由来します。

## ■SI-DRIVEセクター

セクターを左に回すとS（スポーツモード）、右に回すとS#（スポーツシャープモード）、押すとI（インテリジェントモード）になります。操作後、セクターは元の位置に戻ります。



301437

### 🏠 アドバイス

- エンジン冷間時は、S#（スポーツシャープモード）への切り替えができません。この場合、ブザーによりお知らせします。
- S#（スポーツシャープモード）にしたままエンジンをOFFにし、再度エンジンをONにした場合、I（インテリジェントモード）になります。
- S（スポーツモード）または I（インテリジェントモード）でエンジンをOFFにし、再度エンジンをONにした場合、I（インテリジェントモード）になります。
- エンジン回転中にエンジン警告灯が点灯したときは、どの走行モードに入ってもS（スポーツモード）になります。この場合、S#（スポーツシャープモード）またはI（インテリジェントモード）への切り替えはできません。
- エンジン冷却水の温度が上がりオーバーヒートのおそれがあるときは、S#（スポーツシャープモード）への切り替えができません。S#（スポーツシャープモード）で走行している場合は、S（スポーツモード）になります。

運転するとき

# オートマチック車およびCVT車の運転

## セレクトレバー

### ■各位置での働き

 (パーキング)	駐車およびエンジン始動位置	駐車するときは必ず電動パーキングブレーキをかけて[P]にしてください。
 (リバース)	後退位置	ブザーが鳴り、ドライバーに[R]であることを知らせます。
 (ニュートラル)	中立位置	
 (ドライブ)	通常走行位置	車速およびアクセルペダルの踏み込みに応じて自動的に変速します。
 (マニュアル)	マニュアルモード走行位置	手動で変速するときに使用します。 ☆3-69ページ参照

☆1-11ページ参照

**警告**

発進時は、アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーの操作を絶対に行わないでください。急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。

**注意**

- **P**でエンジンをかけてください。  
**N**でもエンジンはかかりますが、安全のため**P**でかけてください。
- **P**、**R**に入れるときは、車が完全に止まってからセレクトレバーを操作してください。トランスミッションを損傷させるおそれがあります。
- **P**以外の状態で長時間放置すると、バッテリー上がりの原因になります。
- 切り返しするとき、**D**→**R**、**R**→**D**と何度もレバーを操作するときは、その都度ブレーキペダルをしっかりと踏み、車を完全に止めてから行ってください。
- **R**に入るとブザーが鳴り、**R**であることを運転者に知らせます。車外の人に音は聞こえませんのでご注意ください。
- 後退した後は、すぐに**R**から**N**に戻す習慣をつけてください。
- ATフルードまたはCVTフルードの油温が通常時より高い場合、AT油温警告灯が点灯します。

☆3-38ページ参照

**アドバイス**

- 3.6Rおよび2.5iは、停車時にアクセルを踏み込んでも、エンジンが高回転まで上がらないようになっています。
- 低水温時に暖機促進や走行性を良くするため、変速タイミングを通常時より高回転側にしています。(暖機が進むと、自動的に通常の変速タイミングに戻ります。)
- CVT車は急な登り坂の連続運転など、継続的に負荷のかかる走行を行った場合、車両の冷却性能を維持するためエンジン回転数または車速が自動的に低下することがあります。  
負荷が低下し、冷却性能を維持できる状態に戻るとエンジン回転数または車速は元に戻ります。

次ページへ ⇒

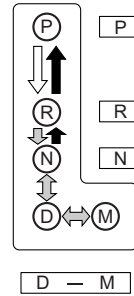
⇒前ページより

- 通常 $\square$ で走行中はよりスムーズな走りを実現するため、下記の制御を行っております。
  - － Nコントロール (I 選択時)  
車が完全に停止した後、セレクトレバーが $\square$ のままアイドル状態ではブレーキペダルを踏んでいると、ギヤがニュートラル状態になります。  
一時停止などからの再発進時、ブレーキペダルから足を離してギヤがつかなくなるまで若干時間 (約1秒) がかかります。
  - － 登坂制御 (オートマチック車)  
登坂での不要なアップ・ダウンを防ぎます。
  - － コーナリング制御 (オートマチック車)  
横Gが大きいときは加速中でもシフトアップしません。
  - － ブレーキング制御 (オートマチック車：SまたはS#選択時)  
5、4速走行中、コーナーの入口などでブレーキを強く踏むと自動的に4、3速へシフトダウンします。
  - － アクセル急戻し制御 (オートマチック車：S#選択時)  
加速中、コーナー手前などでアクセルを急に戻してもシフトアップしません。
  - － 登降坂制御 (CVT車)  
走行中の路面勾配による駆動力とエンジンブレーキ力を最適に制御し、登坂、降坂での運転をアシストします。
  - － アダプティブ制御 (CVT車：SまたはS#選択時)  
コーナリングの強さや連続性、アクセル操作などからスポーツ走行と判定した場合は、エンジンを高い回転数に保つことでエンジンブレーキの効きを高め、アクセルを踏んだときのレスポンスを向上させます。

## ■セレクトレバーの操作方法

レバーは各位置でしっかりと止まるところまで確実に動かしてください。

↓	ブレーキペダルを踏まないと操作できません。 ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押して操作します。
↓	ボタンを押して操作します。
↓	ボタンを押さずに操作します。



301439

### ⚠ 注意

セレクトレバー周辺に物を置かないでください。誤操作の原因となります。

### 🏠 アドバイス

- セレクトレバーの操作は誤操作防止のため各位置ごとに節度をつけ、確実に行ってください。
- **P** のとき、先にセレクトレバーを手前に引いてブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンスイッチがLOCK (OFF) またはAccのときは、ブレーキペダルを踏んでもレバーを **P** から他の位置に切り替えられません。

## ■シフトロックシステム

セレクトレバーの誤操作を防ぐシステムです。

- [P]からのレバー操作は、エンジンスイッチをONにしブレーキペダルを踏まないとできません。
- セレクトレバーを[P]から他の位置に操作するとき、先にセレクトレバーを手前に引いてからブレーキペダルを踏むと、レバー操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏み、レバー操作をしてください。
- [P]以外ではエンジンスイッチからキーが抜けず、または電源をOFFにできません。  
([P]以外ではキーをAccからLOCKまたはOFFにできません)
- [N]でエンジンをOFFにした場合、しばらくするとレバーを[P]に操作することができなくなる場合がありますので直ちにブレーキペダルを踏みながら[P]にしてください。  
もし、セレクトレバーが[N]から[P]に操作できないときは、エンジンスイッチをONにし、ブレーキペダルを踏みながら[P]へ操作してください。
- エンジンスイッチがONで操作できないときは、エンジンスイッチをONからAcc※にし、ブレーキペダルを踏みながら[P]へ操作してください。(60秒以内)  
エンジンスイッチがONで操作できないときは、シフトロックシステムなどの異常が考えられます。直ちにスバル販売店にご連絡ください。  
※キーレスアクセス&プッシュスタート装着車は、[P]以外でエンジン回転中にエンジンスイッチを押してエンジンを停止させた電源状態がAccになります。



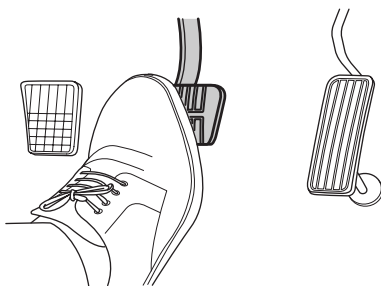
## 運転手順

### ■エンジンをかける前に

- ①正しい運転姿勢をとります。ペダルを確実に踏むことができ、ハンドル操作が楽にできるように、ハンドルの位置、シートの位置を調整してください。  
☆2-48、2-89ページ参照
- ②アクセルペダルの位置を右足で確認します。
- ③ブレーキペダルの位置を右足で確認します。

#### ⚠ 注意

踏み間違いを防ぐため、アクセルペダルとブレーキペダルを右足で踏み、その位置を確認して足に覚えさせてください。  
(踏み間違いは事故につながるおそれがあります。)



301531

### ■エンジン始動

- ①電動パーキングブレーキスイッチを押し、電動パーキングブレーキが確実にかかっていることを確認します。
- ②セレクタレバーが[P]であることを確認します。

#### ⚠ 注意

エンジンは[N]でも始動できますが、安全のため[P]で行ってください。

- ③ブレーキペダルを右足で踏んだまま（アクセルペダルは踏まないこと）
- ④エンジンスイッチをSTARTにし、エンジンを始動します。

#### 🏠 アドバイス

- エンジンがかかりにくいときにアクセルペダルを踏みながら始動する場合は、始動してすぐブレーキペダルに踏み換えてください。
- 3.6Rおよび2.5iは、停車時にアクセルを踏み込んでも、エンジンが高回転まで上がらないようになっています。

## ■発進

- ① ブレーキペダルを右足で踏んだままにします。

### 警告

セレクトレバーは確実にブレーキペダルを踏んで操作してください。アクセルペダルを踏んだまま操作すると急発進して重大な事故につながるおそれがあります。

- ② セレクトレバーを[D]（前進）または[R]（後退）に入れます。  
③ セレクトレバーの位置を確認します。  
④ 電動パーキングブレーキを解除します。  
☆3-53ページ参照  
⑤ 右足をブレーキペダルからアクセルペダルに踏み換えゆっくりと加速します。

### 注意

- エンジン始動直後やエアコン作動時、ハンドル転舵時などはアイドル回転が高くなり、クリーブ（車が動きだす）現象が強くなります。確実にブレーキペダルを踏んでください。

☆1-11ページ参照

- 後退するときには車の後方に人や障害物がないことを確認してください。車内にブザーは鳴りますが、車外の人には聞こえません。

### アドバイス

アクセルペダルを踏むと電動パーキングブレーキが自動解除されるアクセル自動解除機能があります。

☆3-54ページ参照

## ■ 走行

### 通常の走行：

**D**で走行します。アクセルとブレーキの操作だけで自動的に変速され走行できます。

### 急加速：

アクセルペダルを深く踏み込みます。自動的にシフトダウンし加速します。

☆1-11ページ参照

### 上り坂では：

アクセルペダルを深く踏み込みます。

自動的にシフトダウンし加速します。

また、マニュアルモードに入れ勾配に適したギヤを選択するとなめらかな走行ができます。

☆3-69ページ参照

### 下り坂では：

エンジンブレーキを併用してください。マニュアルモードでシフトダウンします。

☆3-69ページ参照

### 急な下り坂では：

マニュアルモードで2速または1速に入れると、さらに強いエンジンブレーキがかかります。

☆3-69ページ参照



### 警告

走行中はセレクトレバーを**N**にしないでください。エンジンブレーキがまったく効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。



### 注意

シフトダウンによる急激なエンジンブレーキは、道路状況や車間距離に注意して行ってください。



### アドバイス

急発進、急加速など、急なアクセル操作時にはまれにエンジンから過渡的なノッキングが聞こえることがありますが、異常ではありません。

## ■ 駐車

- ① 車を完全に止めます。

### 注意


車が完全に止まらないうちにセレクトレバーを[P]に入れしないでください。トランスミッション損傷の原因となります。

- ② ブレーキペダルを踏んだままの状態、電動パーキングブレーキを確実にかけます。
  - ③ セレクトレバーを[P]に入れます。
  - ④ エンジンを止めます。
- ☆1-23ページ参照

### 注意

車から離れるときは、必ずセレクトレバーを[P]に入れ、エンジンを止めてください。[P]以外でエンジンを止め、車を放置するとバッテリー上がりの原因となります。

## ■ 停車

- ① のままブレーキペダルを確実に踏みます。


### 注意

エンジン始動直後やエアコン作動時、ハンドル転舵時などはアイドリング回転が高くなり、クリーブ(車が動きだす)現象が強くなります。確実にブレーキペダルを踏んでください。

☆1-11ページ参照

### アドバイス

アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、坂道で[P] [N]以外に入れた状態で、アクセルをふかしながら車を停止させたりしないでください。トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。

- ② 必要に応じて電動パーキングブレーキをかけます。
- ③ 長時間停車するときは[P]にします。
- ④ 停車後、再発進するときは、セレクトレバーがにあることを確認して発進します。

## ⚠ 注意

- 空吹かしをしないでください。急発進の原因となります。
  - 停車中にセレクトレバーを動かすときはブレーキペダルを確実に踏んでください。
  - ヒルホールド機能がONのとき、急な上り坂でブレーキペダルを確実に踏んで停車した場合は、電動パーキングブレーキが自動でかかります。
- ☆3-54ページ参照

## 🏠 アドバイス

Nコントロール機能が装備されています。

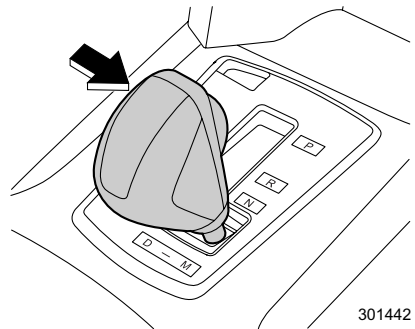
- I (インテリジェント) モード選択時、車が完全に停止した後、セレクトレバーがDのままアイドル状態でブレーキペダルを踏んでいると、ギヤがニュートラル状態になります。
- 再発進時はブレーキペダルから足を離してギヤがつながるまで若干時間(約1秒)がかかります。  
急な上り坂での再発進時は、ヒルホールド機能をONにすることをお奨めします。

運転するとき

## マニュアルモード

### ■ マニュアルモードの使いかた

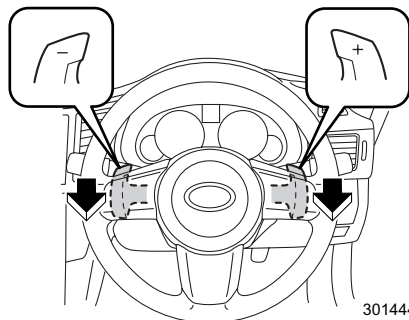
セレクトレバーをDからマニュアルゲートに動かすとマニュアルモードになります。



301442

## ■シフト操作

パドルシフト右側のレバーが⊕(アップ)になり、左側のレバーが⊖(ダウン)になります。1段上のギヤに変速するときは⊕のレバーを手前に引きます。1段下のギヤに変速するとき⊖のレバーを手前に引きます。



## ■マニュアルモードの解除

マニュアルモードを解除するときは、セレクトレバーをマニュアルゲートからDの位置に移動させます。

### 🏠 アドバイス

- シフトダウン不可能な車速（シフトダウンすることによりエンジンの回転がレッドゾーン以上になる場合）でシフトダウン操作をした場合、“ピピ”とブザーが鳴り、運転者にシフトダウンできないことを知らせます。
- 低過ぎる車速でシフトアップを行った場合、変速しません。
- 車が停車したとき、自動的にギヤは1速になります。
- 下り坂ではエンジンブレーキを併用することをお奨めします。

☆1-20ページ参照

## ■Dレンジパドルシフトマニュアル操作機能

走行中、Dのままパドルシフトを操作すると自動変速モードから一時的にマニュアルモードに切り替わり、しばらく走行した後、通常のDの走行に自動的に復帰します。（操作時の走行状況により、モード切り替えや復帰時間が異なります。）このとき、シフトポジション表示灯にギヤ位置が表示されます。

### ⚠️ 注意

パドルシフトのレバーにアクセサリなど物をかけないでください。アクセサリなどをかけるとレバーが不意に動き、シフト操作をするおそれがあります。

## ■滑りやすい路面での発進（2速発進）

雪道など滑りやすい路面での発進は、マニュアルモードで2速を選択することにより、安全で容易に行えます。

ブレーキを踏んだまま、パドルシフトの⊕側のレバーを動かしギヤを2速にします。このときシフトポジション表示灯は2速を表示します。

### 🏠 アドバイス

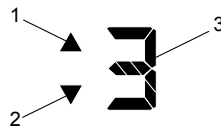
2速発進を選択すると、2速で固定されたままになります。変速したい場合は、セレクトレバーをDに戻すか、マニュアルモードとしてご使用ください。  
☆3-69ページ参照

## ■シフトポジション表示灯

マニュアルモードが選択されるとギヤ位置を表示します。

シフトアップが可能な場合は数字の横に“▲”、シフトダウンが可能な場合は数字の横に“▼”が表示されます。

シフトアップ、シフトダウン可能表示灯が消灯している状態ではシフトアップ・ダウンはできません。



- ① シフトアップ可能表示灯
- ② シフトダウン可能表示灯
- ③ 変速ギヤ表示

301443

運転するとき

## SI-DRIVE (SUBARU Intelligent Drive)

SI-DRIVE<sup>※</sup>は、3つの特性をもった走行モードの、I（インテリジェントモード）、S（スポーツモード）、S#（スポーツシャープモード）を選べるシステムです。

I（インテリジェントモード）：

ストレスのない走行性と低燃費を両立させたモードです。市街地走行などの日常の使用に適しています。

S（スポーツモード）：

「I」よりも走行性を向上させ、場所を選ばない走行モードです。高速道路での巡航時や郊外の道を走行するのに適しています。

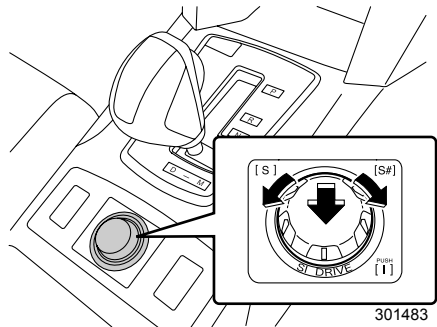
S#（スポーツシャープモード）：

最高の走行性を引き出すモードです。山間部での走行や高速道路の合流、追い越し加速時などに適しています。

※SI-DRIVEは、SUBARU Intelligent Driveに由来します。

## ■SI-DRIVEセレクター

セレクターを左に回すとS（スポーツモード）、右に回すとS#（スポーツシャープモード）、押すとI（インテリジェントモード）になります。操作後、セレクターは元の位置に戻ります。



### 🏠 アドバイス

- エンジン冷間時は、S#（スポーツシャープモード）への切り替えができません。この場合、ブザーによりお知らせします。
- S#（スポーツシャープモード）にしたままエンジンをOFFにし、再度エンジンをONにした場合、I（インテリジェントモード）になります。
- S（スポーツモード）または I（インテリジェントモード）でエンジンをOFFにし、再度エンジンをONにした場合、I（インテリジェントモード）になります。
- エンジン回転中にエンジン警告灯が点灯したときは、どの走行モードに入ってもS（スポーツモード）になります。この場合、S#（スポーツシャープモード）またはI（インテリジェントモード）への切り替えはできません。
- エンジン冷却水の温度が上がりオーバーヒートのおそれがあるときは、S#（スポーツシャープモード）への切り替えができません。S#（スポーツシャープモード）で走行している場合は、S（スポーツモード）になります。3.6Rは、エンジンオイルの温度が上がった場合もS（スポーツモード）になります。



# クルーズコントロール


クルーズコントロール（自動定速走行装置）は、アクセルペダルを踏まなくても約 40 ～ 100 km/hの任意の速度で車速を一定に保つことができる機能です。

## 警告

次のような道路では危険ですので使用しないでください。

- 交通量が多く、車間距離が充分に取れない道路
- 急な下り坂や急カーブが多い道路
- 凍結、積雪などで滑りやすい道路

## 注意

もし走行中にクルーズコントロール表示灯“CRUISE”の点滅とエンジン警告灯“”の点灯が同時に発生したときは、直ちに車を安全な場所に停めてスバル販売店に連絡し、点検を受けてください。

## アドバイス

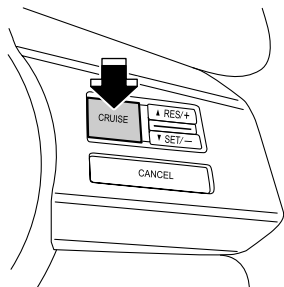
- 上り坂や下り坂では勾配、積載量により、一定車速を保てない場合があります。
- クルーズコントロールスイッチを押しながらエンジンを始動させると、クルーズコントロール表示灯“CRUISE”が点滅します。この場合、一旦エンジンスイッチを OFF にしてスイッチに触れずに再度エンジンを始動させてください。
- CRUISEスイッチを押してもクルーズコントロール表示灯が点灯しない場合は、システムの異常が考えられます。スバル販売店に連絡し、点検を受けてください。

## ■CRUISEスイッチ

### ▼作動するとき

CRUISE（クルーズ）スイッチを押します。

このときマルチインフォメーションディスプレイに“CRUISE”が表示されます。



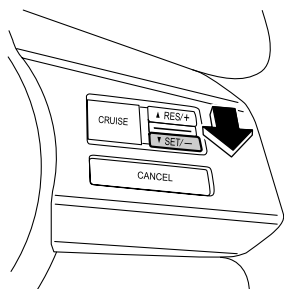
301623

### ▼停止するとき

スイッチをもう一度押すと作動停止します。エンジンを止めたときも自動的に作動停止し、表示灯は消灯します。

## ■速度をセットするとき

- ① CRUISE スイッチを押して作動可能にします。
- ② アクセルペダルを加減して希望する速度にします。
- ③ 希望する速度になったときRES/SETスイッチをSET/ー側に押します。  
スイッチを押し下げたときの車速がセット車速となり、定速走行します。  
マルチインフォメーションディスプレイに“SET”が表示されます。

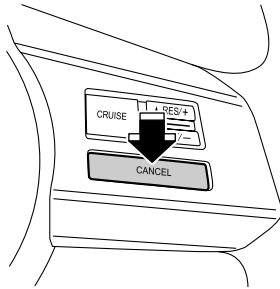


301624

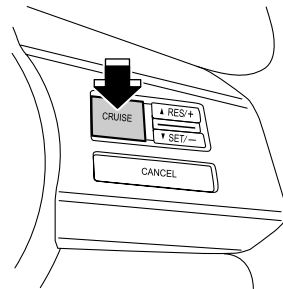
## ■一時解除

次の場合は速度セットが一時的に解除されます。メーター内のクルーズコントロール車速セット表示灯も消えます。

- CANCEL（キャンセル）スイッチを押す。
- CRUISE（クルーズ）スイッチを押す。
- ブレーキペダルを踏む。



301625

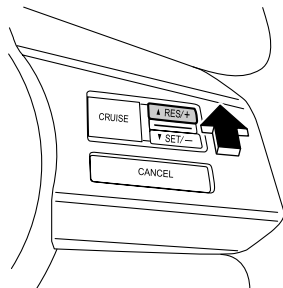


301626

## ■一時解除の復帰

前回のセット車速がメモリー※されていますので、その車速に再びセットしたいときは、RES/SET スイッチを RES/ + 側に押します。（マルチインフォメーションディスプレイが再び設定状態の表示になります。）

前回のセット車速がメモリーされている場合、現在の車速が約30 km/h以上でセットが可能です。



301627

※ 次の場合はメモリーされている車速が消えます。

- クルーズメインOFFしたとき
- VDC、TCSが作動したとき
- 全車速追従機能付クルーズコントロールから定速クルーズコントロールに切り替えたとき

## 🏠 アドバイス

- メモリー車速値の表示はありません。(コンビネーションメーター等に表示されません。)
- 40 km/h～100 km/hの範囲で設定された車速で定速走行します。
- メモリー車速(前回のセット車速)が無い場合RES/+スイッチでは設定できません。
- RES/+スイッチで設定した場合は、メモリーされている車速に設定されます。

## ■ セット速度を高めるとき (タップアップ/アクセラレート)

次の3つの方法があります。

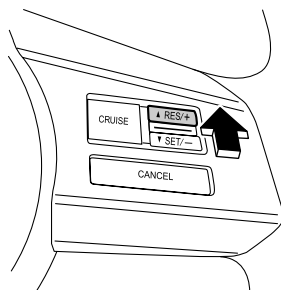
### • タップアップ

RES/SETスイッチをRES/+側に押すと、セット車速が1km/hきざみで上がります。

### • アクセラレート

RES/SETスイッチをRES/+側に長く押し、押し続けている間だけ加速します。

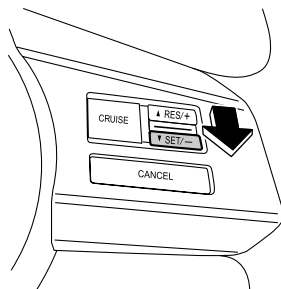
このあと、スイッチを離れたときの車速で再セットされます。



301627

### • アクセルペダルによる方法

アクセルペダルを踏み、速度を上げます。希望の速度になったらRES/SETスイッチをSET/-側に押します。スイッチを離れたときの車速で再セットされます。



301628

## ■一時的に加速したいとき

追越しなどで加速したいときはアクセルペダルを踏み込んでください。  
アクセルペダルから足を離すと設定した速度まで自動的に戻り、定速走行を続けます。

### アドバイス

操作スイッチでの急加速はできません。

## ■セット速度を下げるとき（タップダウン/コースト）

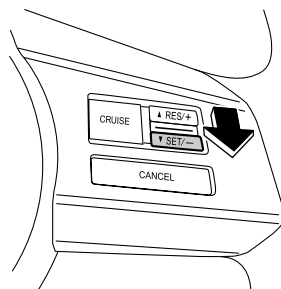
次の3つの方法があります。

### ● タップダウン

RES/SETスイッチをSET/−側に押すと、設定車速が1km/hきざみで下がります。

### ● コースト

RES/SETスイッチをSET/−側に長く押すと、押している間だけ減速します。このあと、スイッチを離れたときの車速で再セットされます。

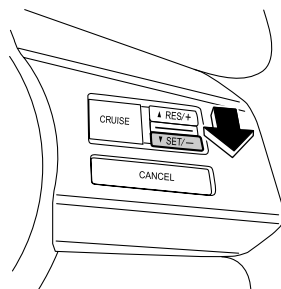


301628

### ● ブレーキペダルによる方法

ブレーキペダルを踏み、速度を下げます。  
(定速クルーズコントロールが解除されます。)

希望の速度になったら RES/SET スイッチをSET/−側に押します。スイッチを離れたときの車速で再セットされます。



301628

## ■一時的に減速したいとき

減速するときはブレーキペダルを踏んでください。設定した速度に戻すときは復帰操作をしてください。

☆3-75ページ参照



### アドバイス

- 操作スイッチでの急減速はできません。
- 下り坂ではエンジnbr레이크と併用してください。